

滋賀県新型コロナウイルス感染症対策本部 第62回本部員会議 次第

日 時：令和4年7月13日(水)
16時15分～16時45分
場 所：危機管理センター
災害対策本部室

あいさつ

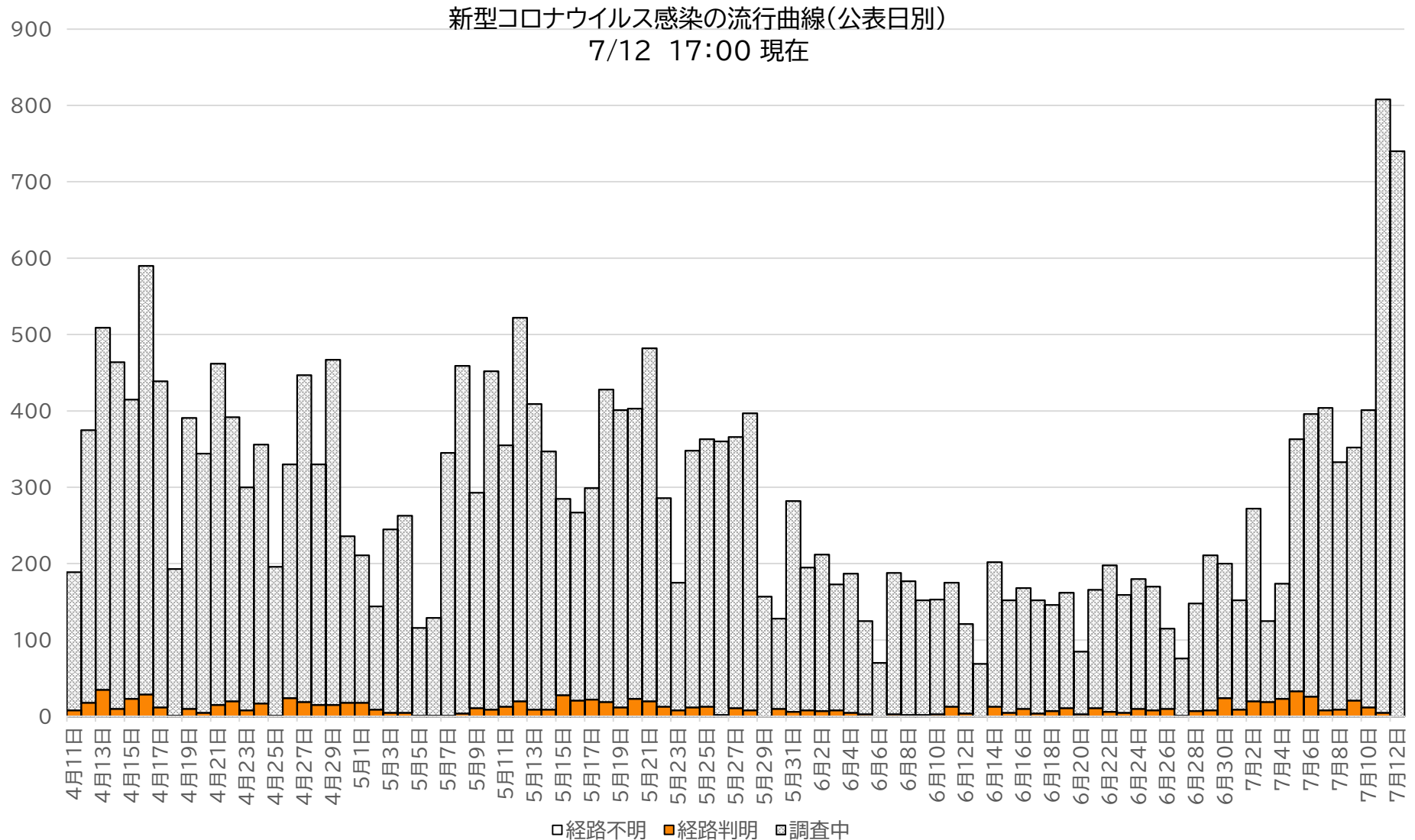
議 題

- (1) 新型コロナウイルス感染症にかかる県内の感染動向等について
- (2) 「コロナとのつきあい方滋賀プラン」に基づくレベル判断と対応について
- (3) 新型コロナウイルスワクチン接種の推進について
- (4) その他

新型コロナウイルス感染症にかかる 県内の感染動向等について

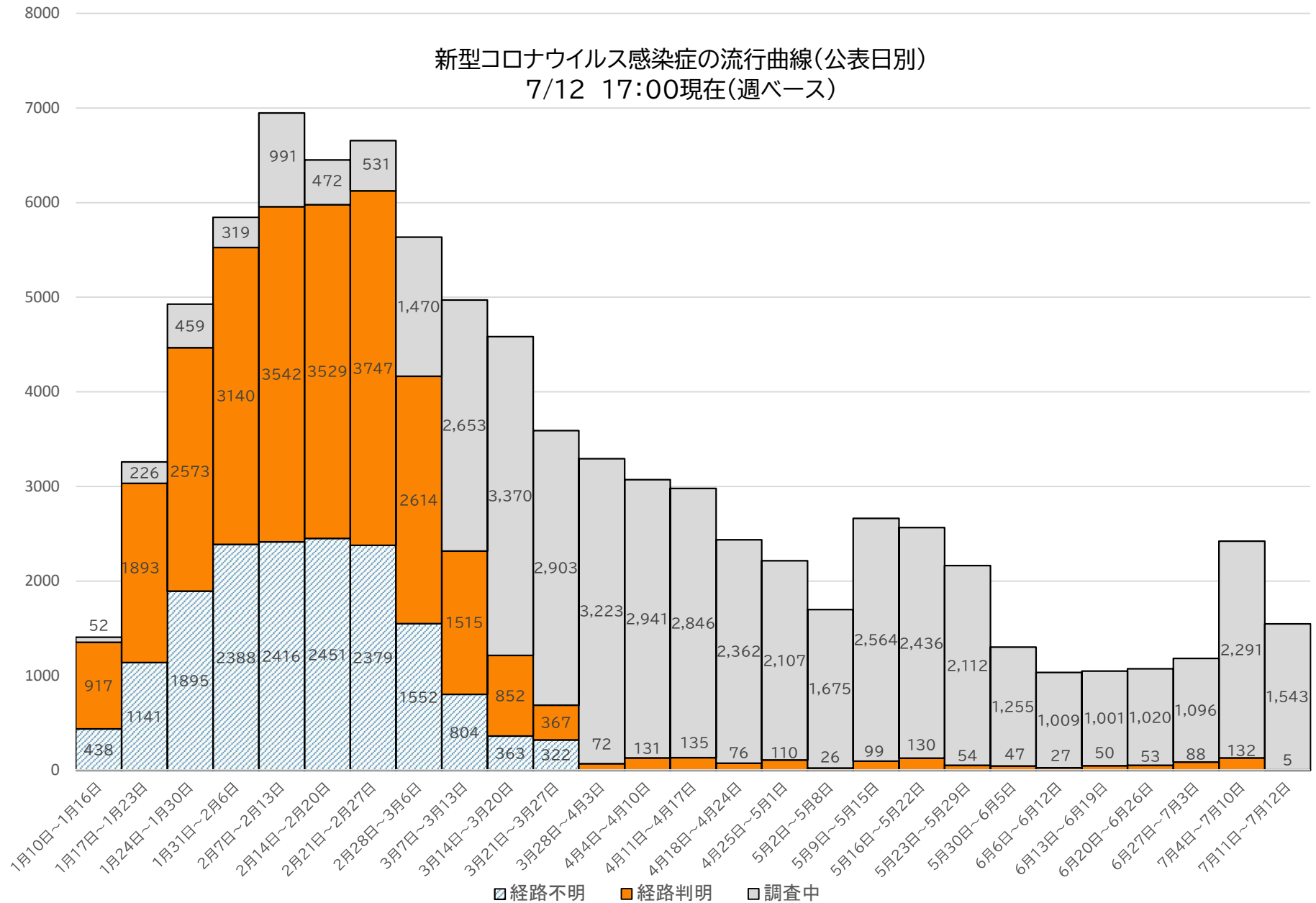
県内の感染動向について(7/12現在)

1)①流行曲線(公表日別)



流行曲線：感染症の流行を経時的に観察し、流行の特徴を把握することができます。

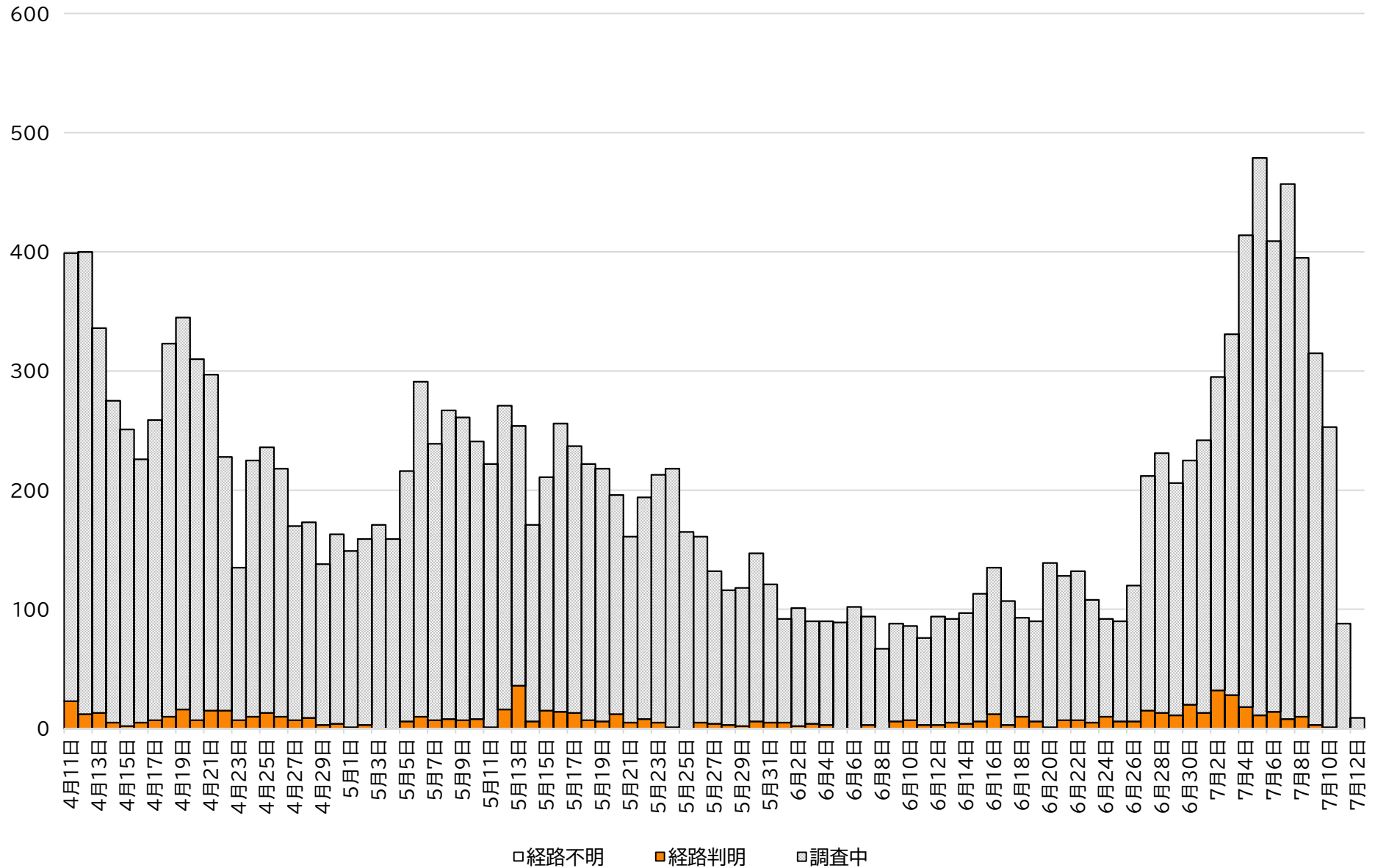
新型コロナウイルス感染症の流行曲線(公表日別)
7/12 17:00現在(週ベース)



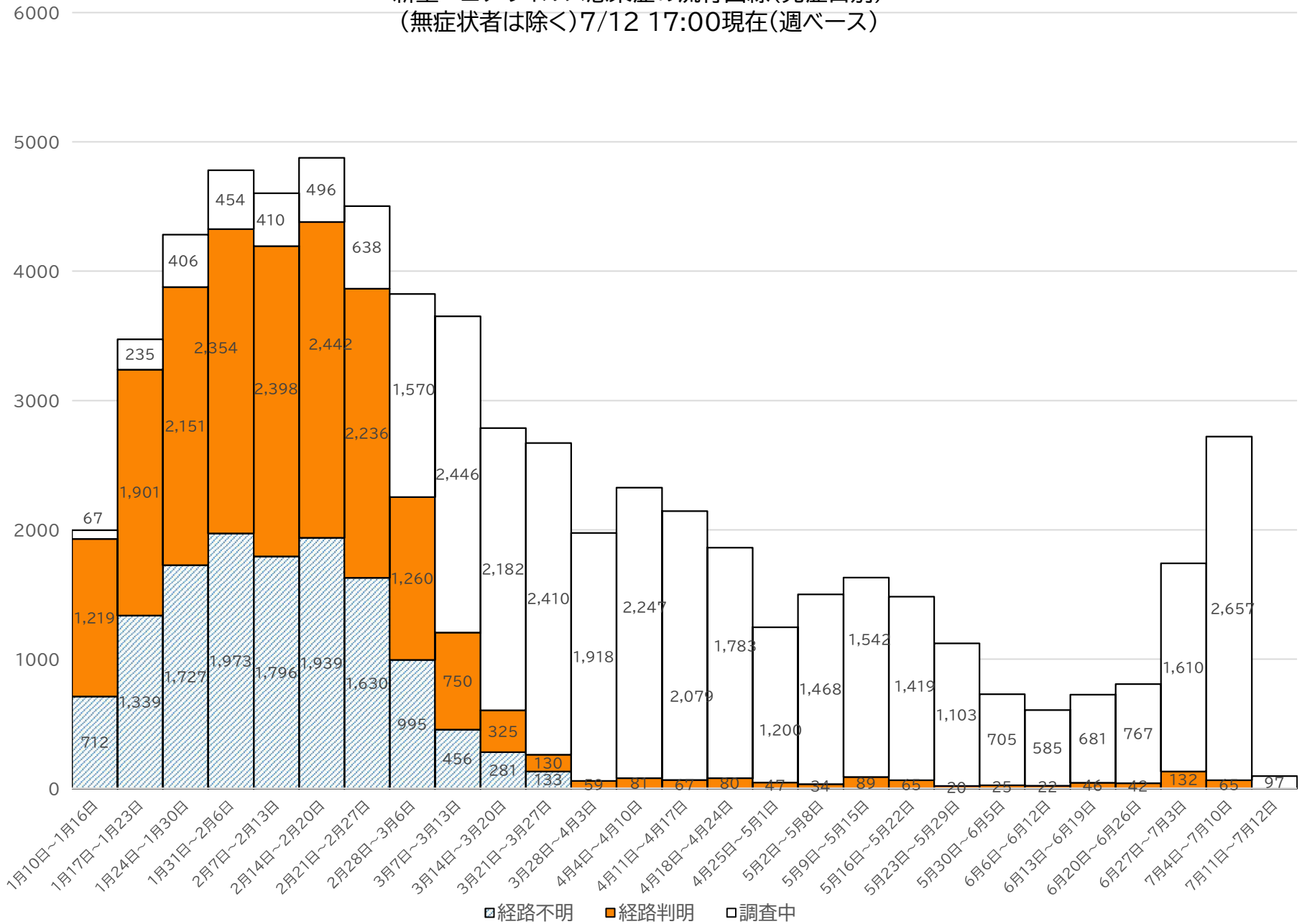
流行曲線：感染症の流行を経時的に観察し、流行の特徴を把握することができます。

②流行曲線(発症日別)

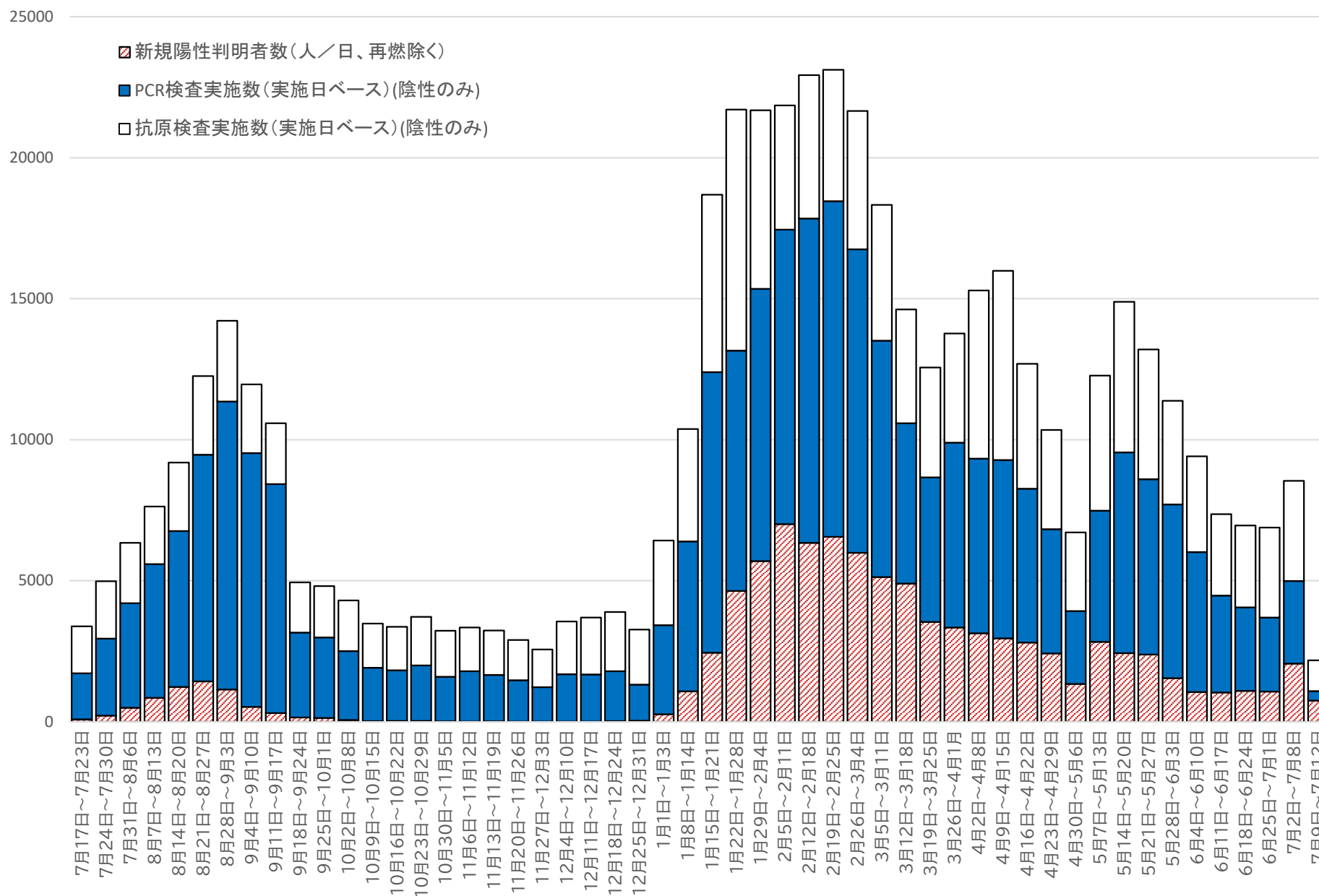
新型コロナウイルス感染症の流行曲線(発症日別)
(無症状者は除く) 7/12 17:00 現在



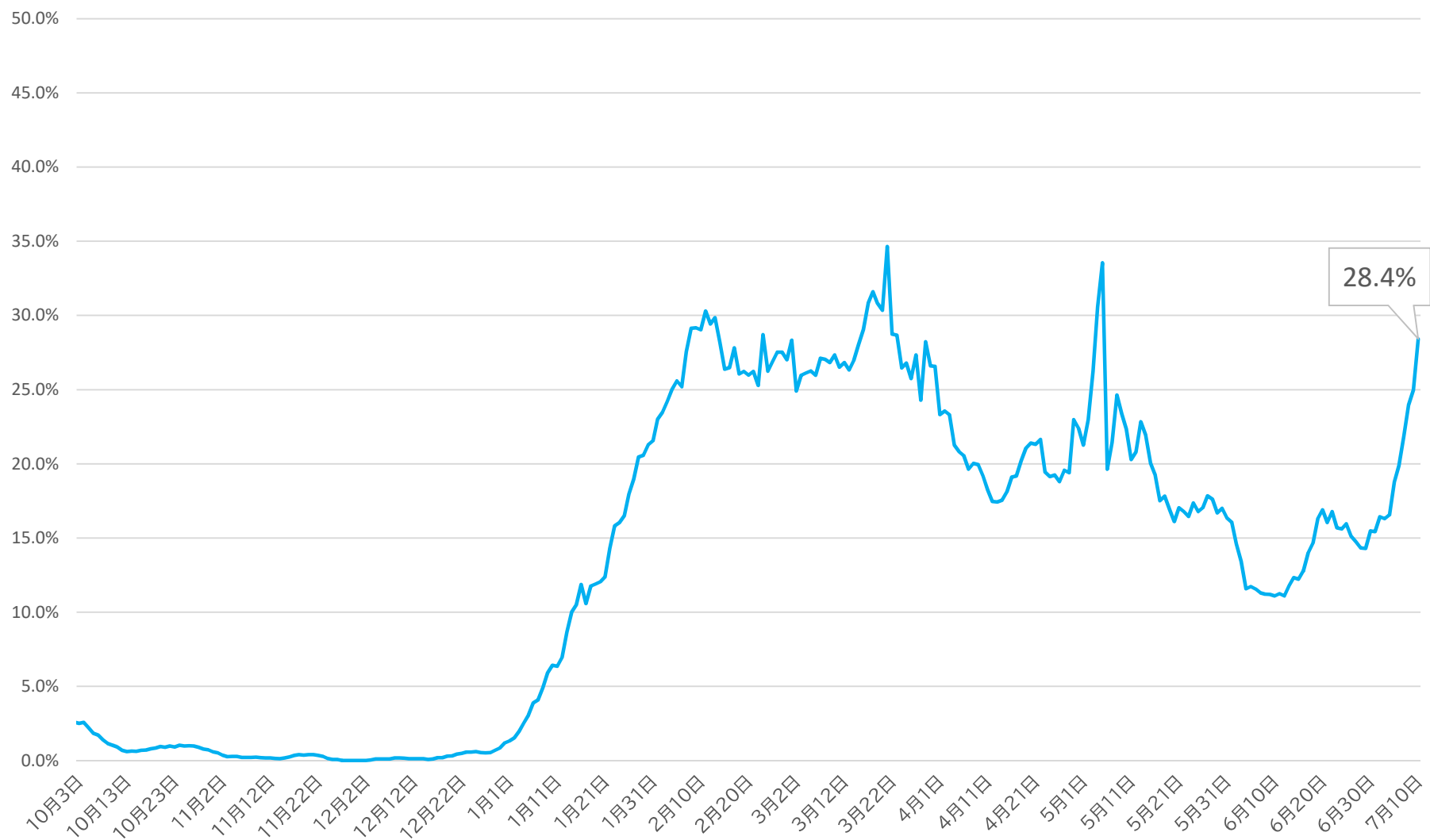
新型コロナウイルス感染症の流行曲線(発症日別)
(無症状者は除く)7/12 17:00現在(週ベース)



2)PCR等検査の状況(陰性確認を除く)



3)陽性率(7日間移動平均)



- 陽性率の7日間の移動平均（その日までの7日間の平均）を見ると、7月10日現在の陽性率は28.4%でした。

4) 県内の病床数および宿泊療養施設の状況

	県内 病床数					県内 宿泊療養 部屋数					
		入院者数	空床数		療養者数		清掃・修 理待ち	空数			
			県内発生	その他				県内発生	その他		
総数	391	172	159	13	219	630	165	163	2	0	465

5) 県内の陽性者発生状況

項 目	陽性者数累計	現在 陽性者数						入院予定等	宿泊 療養	退院等	死亡
			入院中				入院予定等				
				重症	中等症	軽症					
PCR検査数	439,791										
(うち行政検査分	190,219)	99,949	3,929	159	1	28	130	3,607	163	95,798	222
(うちその他検査分	249,572)	(うちPCR検査判明分	59,024)					(うち自宅待機	339)		
抗原検査数	256,536	(うち抗原検査判明分	40,925)					(うち自宅療養	3268)		

重症：人工呼吸器またはECMO(体外式膜型人工肺)が必要
 中等症：酸素投与が必要または摂食不可能
 軽症：無症状または酸素不要、摂食可能

6) その他県内の感染状況

医療体制等への負荷	現時点の確保病床の占有率※1	44.0%	感染状況	直近1週間における 人口10万人当たりの新規報告数	242.9人
	最大確保病床の占有率※2	34.7%			
	うち重症者用病床の 最大確保病床の占有率※3	2.0%			
	人口10万人当たりの 全療養者数	278.9人			

※1 現時点の確保病床の数(391床)に対する割合

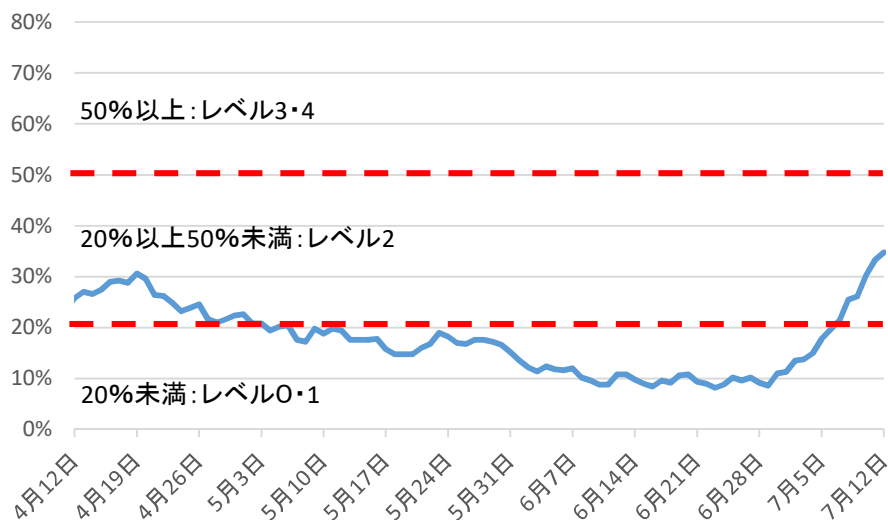
※2 最大確保病床の数(495床)に対する割合

※3 確保病床の数(49床)に対する割合

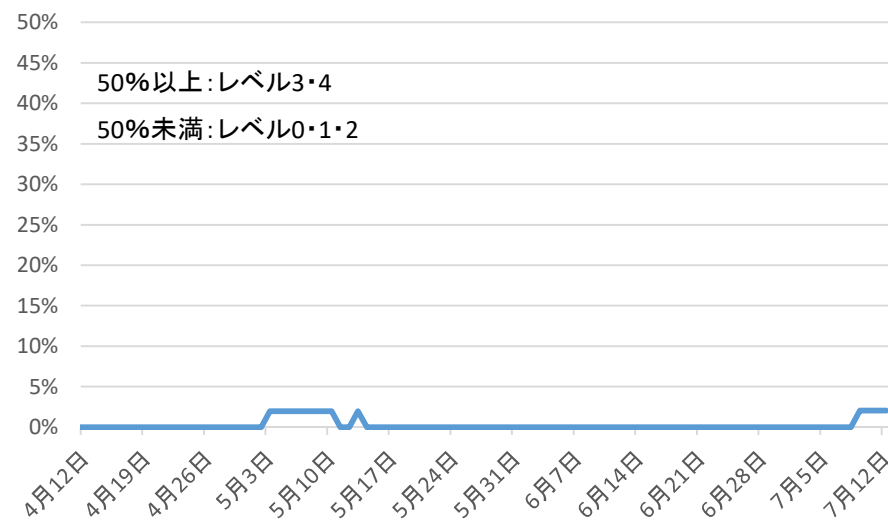
重症者数	重症者以外のICU(集中治療室)利用者数	重症者用病床の現時点の確保病床数	PCR等検査数(直近1週間分)
1人	0人	49床	8,525件

7)その他の県内の感染動向

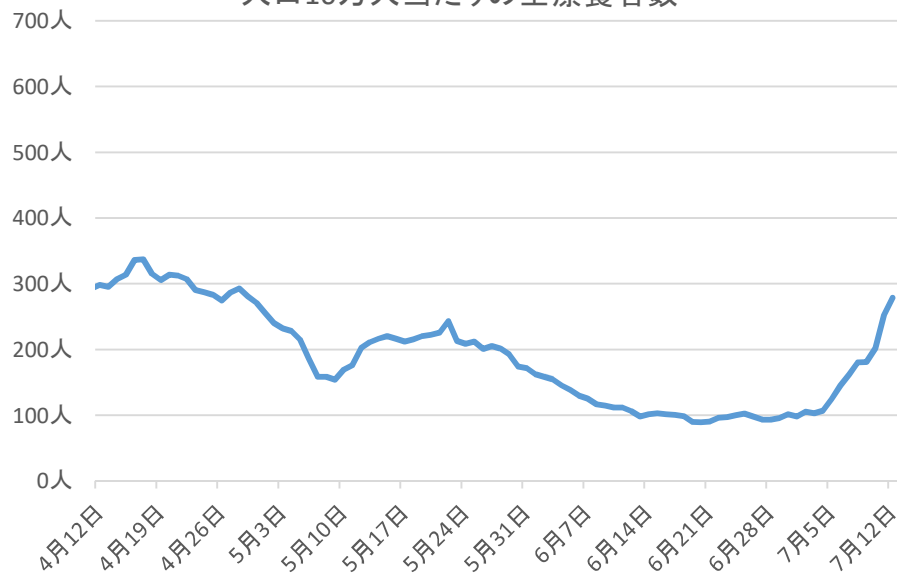
最大確保病床の占有率



重症者用病床の最大確保病床の占有率



人口10万人当たりの全療養者数



直近1週間における人口10万人
当たりの新規報告数



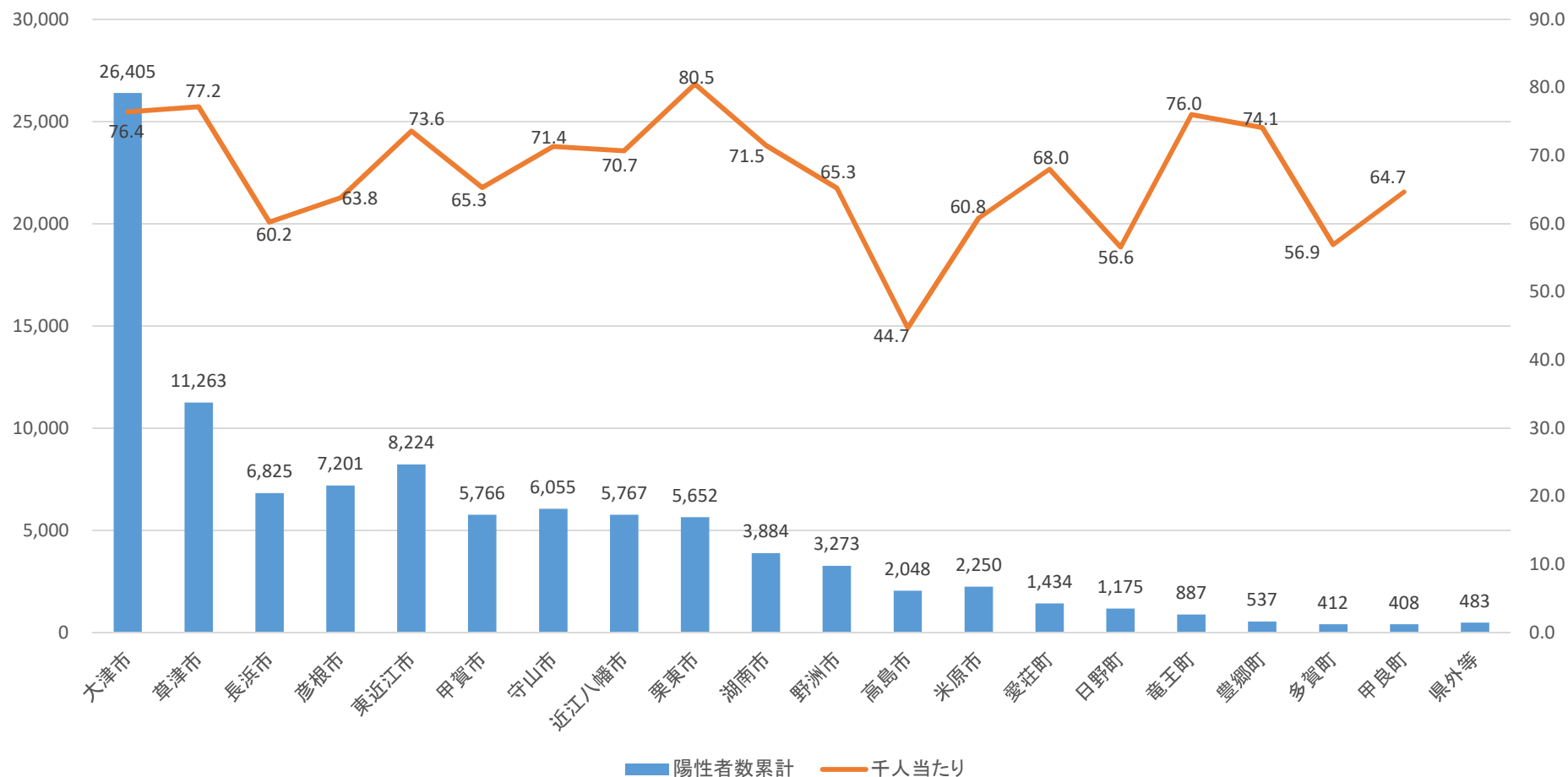
8)性別陽性者数

性別	男性	女性	非公表(10歳未満)	計
陽性患者数	40,743	41,147	18,059	99,949

9)市町別陽性者数

陽性者数累計(人)

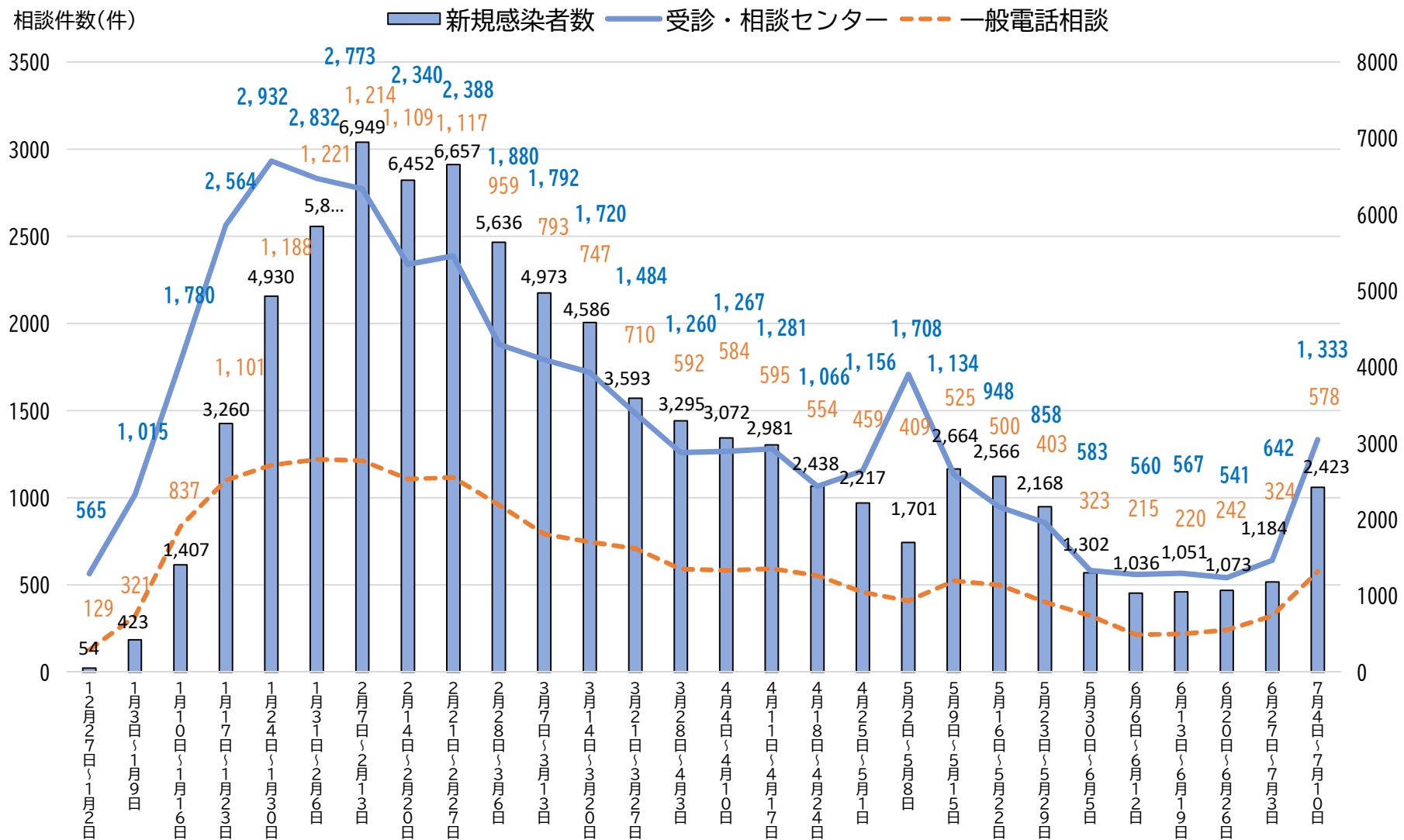
市町人口千人当たりの
累計陽性者数(人)



10) 相談体制について

相談件数と新規感染者数（週計）

新規感染者数(人)

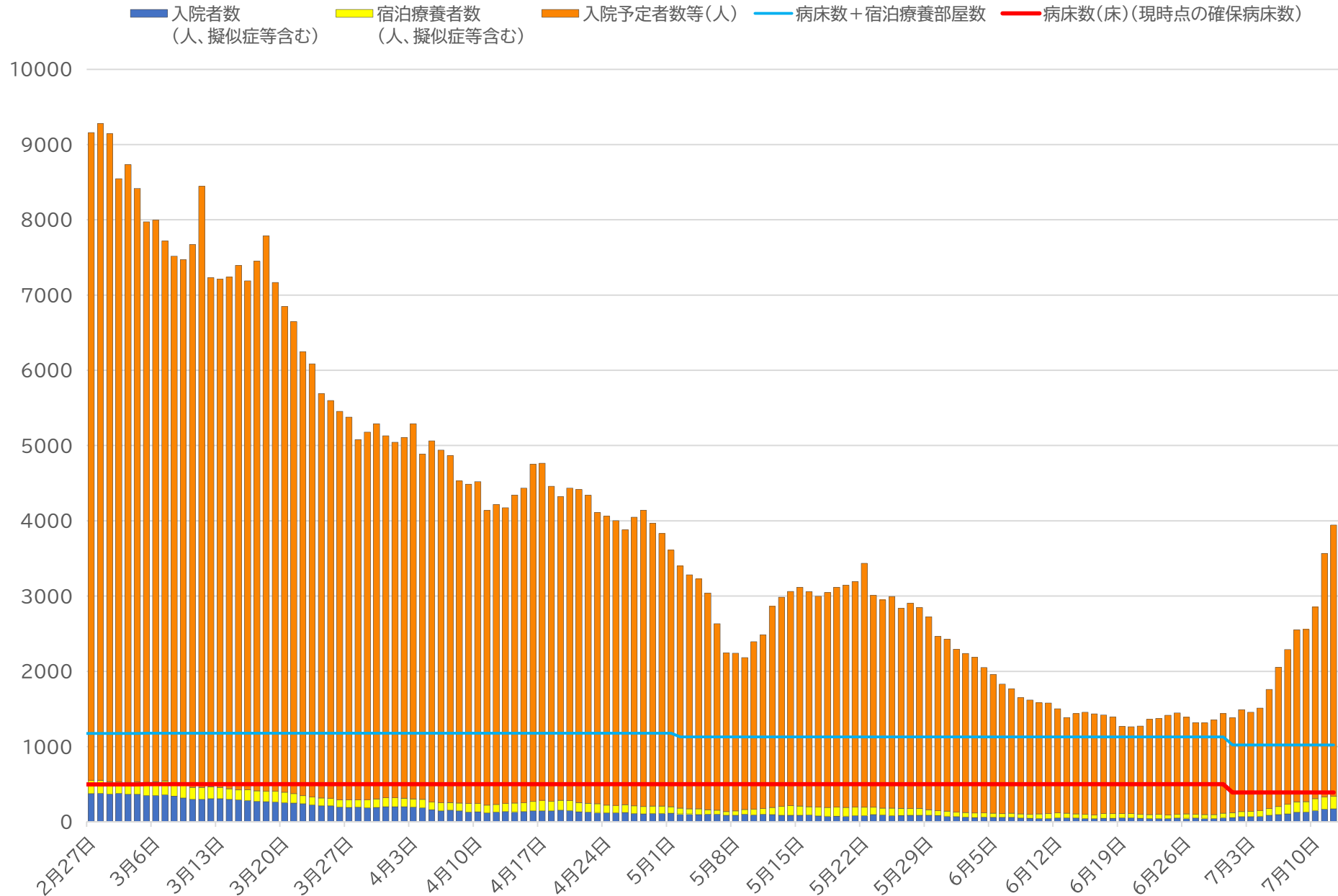


11)3月以降に発生したクラスターの状況

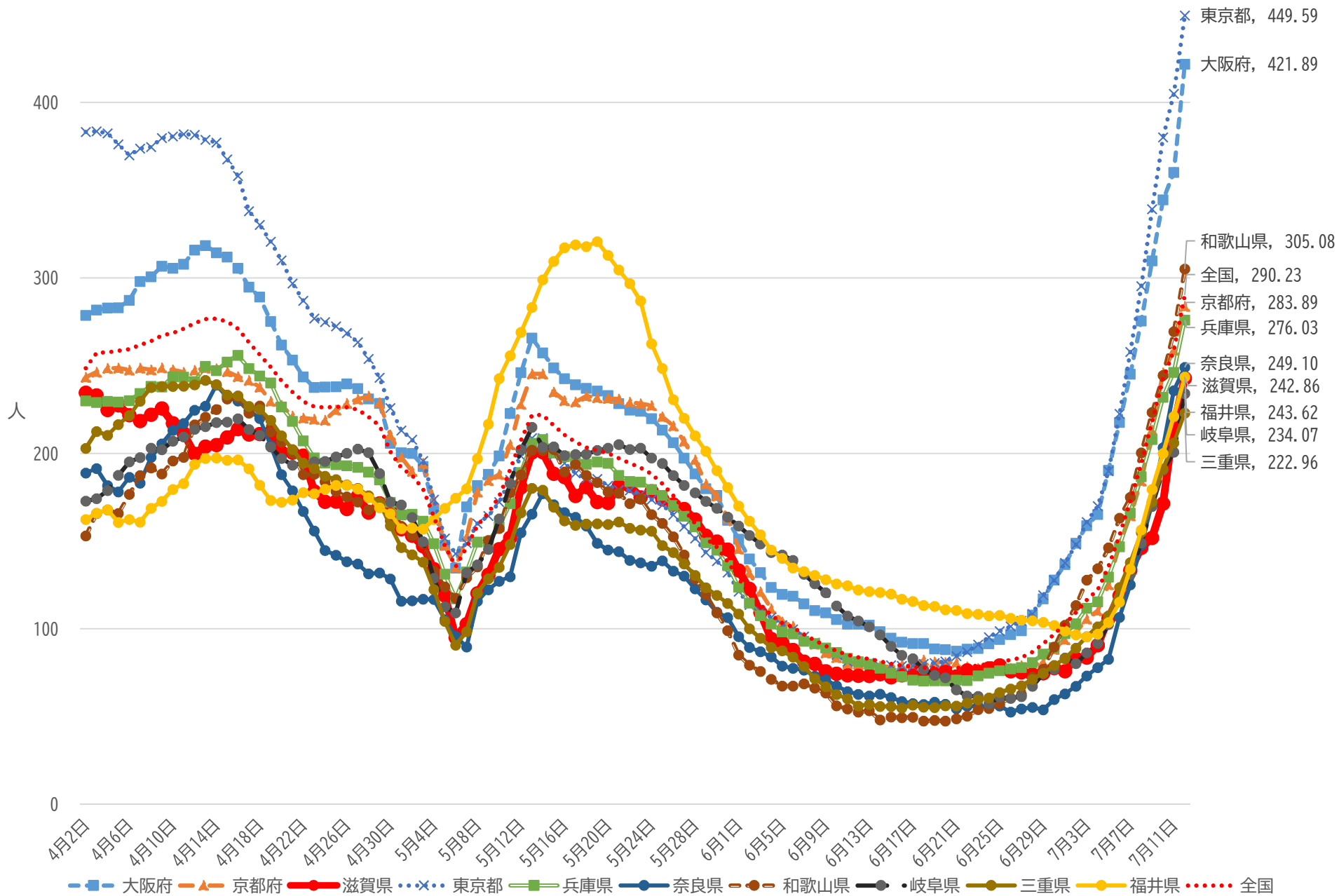
障害福祉関連事業所⑩	11	介護関連事業所67	7	介護関連事業所73	33	学校64	4	保育関連施設89	9	医療機関⑧	5
保育関連施設69	19	保育関連施設75	4	介護関連事業所74	11	障害福祉関連事業所⑫	16	介護関連事業所83	11	保育関連施設93	21
医療機関④	7	保育関連施設76	8	介護関連事業所75	4	介護関連事業所77	5	保育関連施設90	11	保育関連施設94	5
介護関連事業所61	9	学校55	6	事業所60	8	保育関連施設84	5	学校71	7	保育関連施設95	25
介護関連事業所62	11	保育関連施設77	6	学校60	8	保育関連施設85	6	保育関連施設91	5	介護関連事業所89	6
医療機関④	32	保育関連施設78	7	学校61	5	学校65	10	介護関連事業所84	6	医療機関⑨	25
保育関連施設70	9	保育関連施設79	6	事業所61	6	保育関連施設86	7	介護関連事業所85	22	保育関連施設96	19
保育関連施設71	21	介護関連事業所68	6	医療機関③	17	学校66	12	医療機関⑥	23	学校77	9
介護関連事業所63	6	介護関連事業所69	5	介護関連事業所76	6	学校67	13	学校72	6	介護関連事業所90	5
障害福祉関連事業所⑪	6	介護関連事業所70	7	学校62	7	介護関連事業所78	3	学校73	18	医療機関50	12
障害福祉関連事業所⑬	11	介護関連事業所71	7	会食⑪	24	学校68	6	介護関連事業所86	8	介護関連事業所91	9
保育関連施設72	17	保育関連施設80	6	医療機関④	12	学校69	16	保育関連施設92	11	医療機関51	9
医療機関⑫	5	保育関連施設81	3	障害福祉関連事業所⑭	8	保育関連施設87	9	学校74	11	会食⑬	6
事業所59	23	学校56	13	学校63	5	介護関連事業所79	5	介護関連事業所87	9	学校78	5
介護関連事業所64	31	学校57	29	事業所62	8	保育関連施設88	6	事業所63	8	保育関連施設97	6
保育関連施設73	10	障害福祉関連事業所⑯	8	医療機関⑤	10	学校70	9	学校75	5	医療機関52	9
保育関連施設74	37	介護関連事業所72	6	保育関連施設82	22	介護関連事業所80	7	学校76	8	保育関連施設98	5
介護関連事業所65	30	学校58	2	障害福祉関連事業所⑰	36	介護関連事業所81	5	医療機関⑦	11		
介護関連事業所66	7	学校59	11	保育関連施設83	4	介護関連事業所82	11	介護関連事業所88	5		

※県内において確認された陽性者数

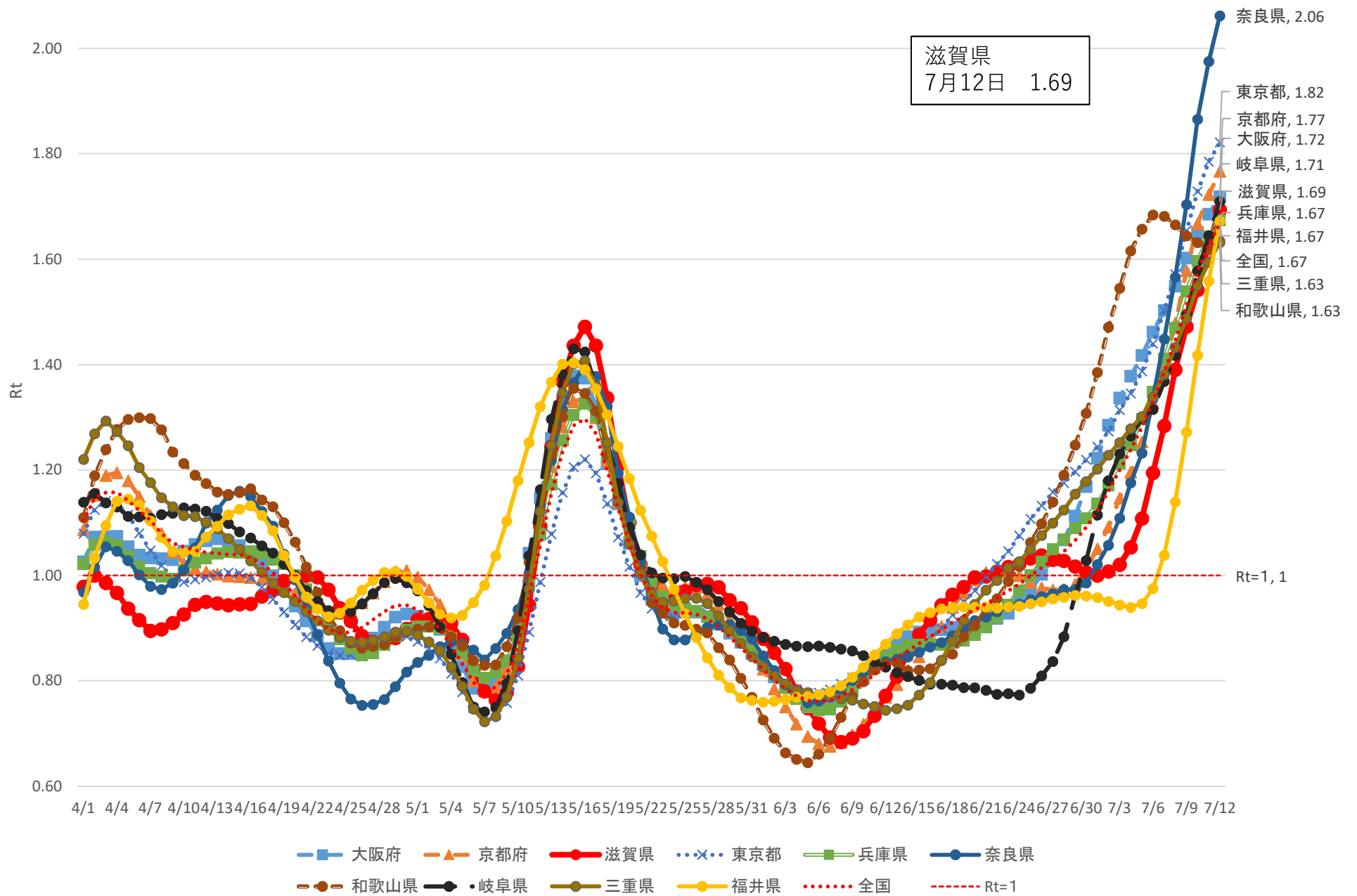
入院医療体制について



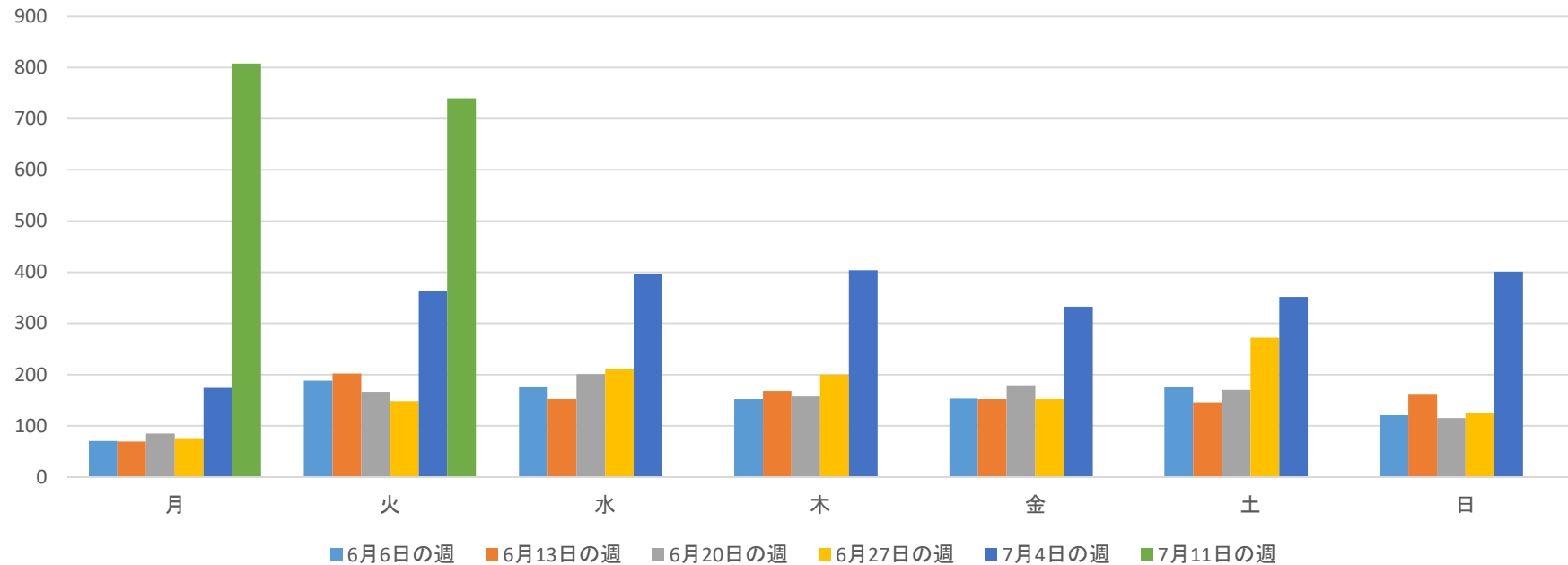
近隣府県の10万人当たりの新規感染者数の推移(直近7日間の累計患者数)(R4.4/1-7/12)



実効再生産数の推移(7日間移動平均) (R4.4/1-7/12)



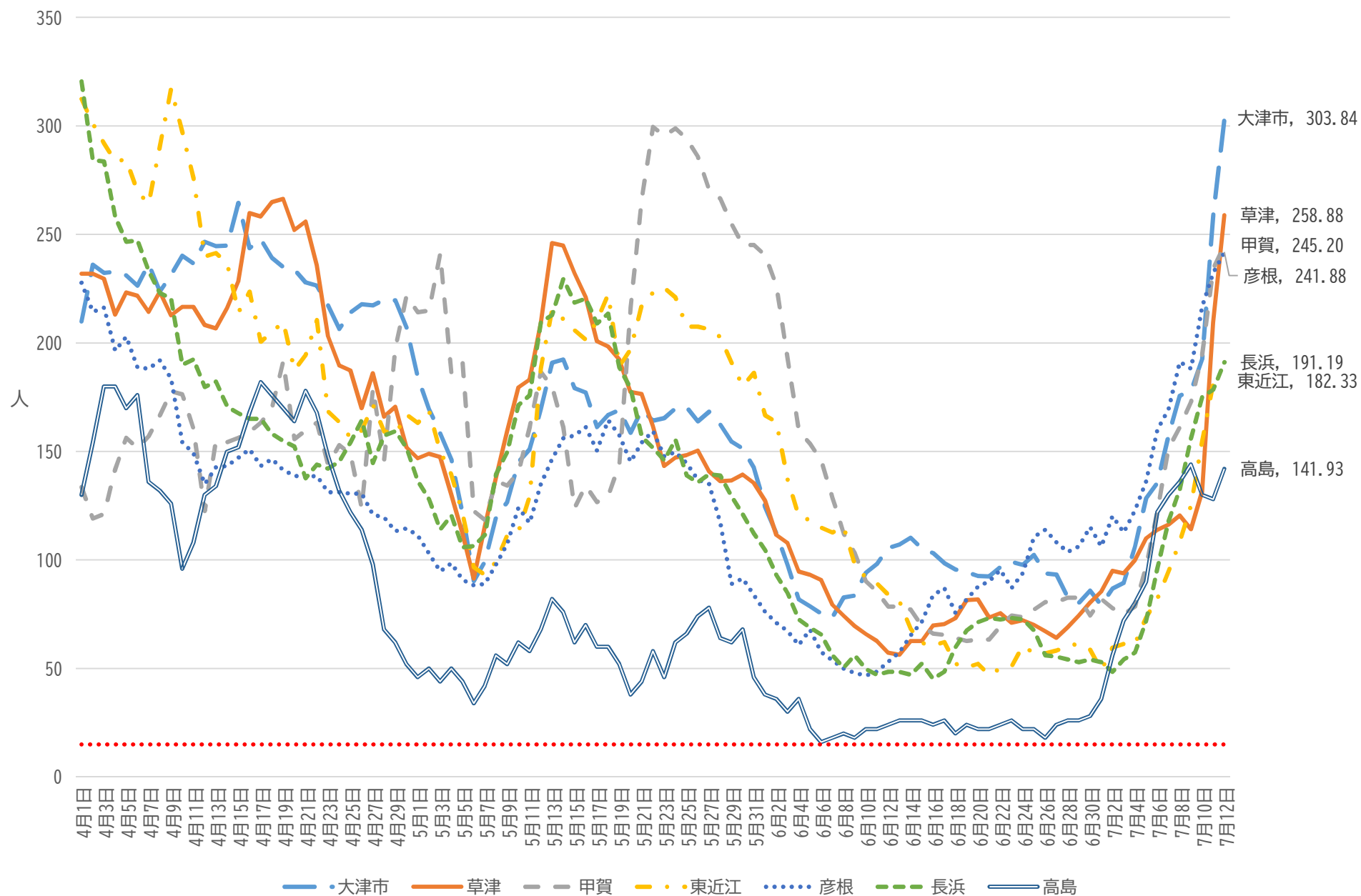
曜日ごとの新規陽性者数の推移



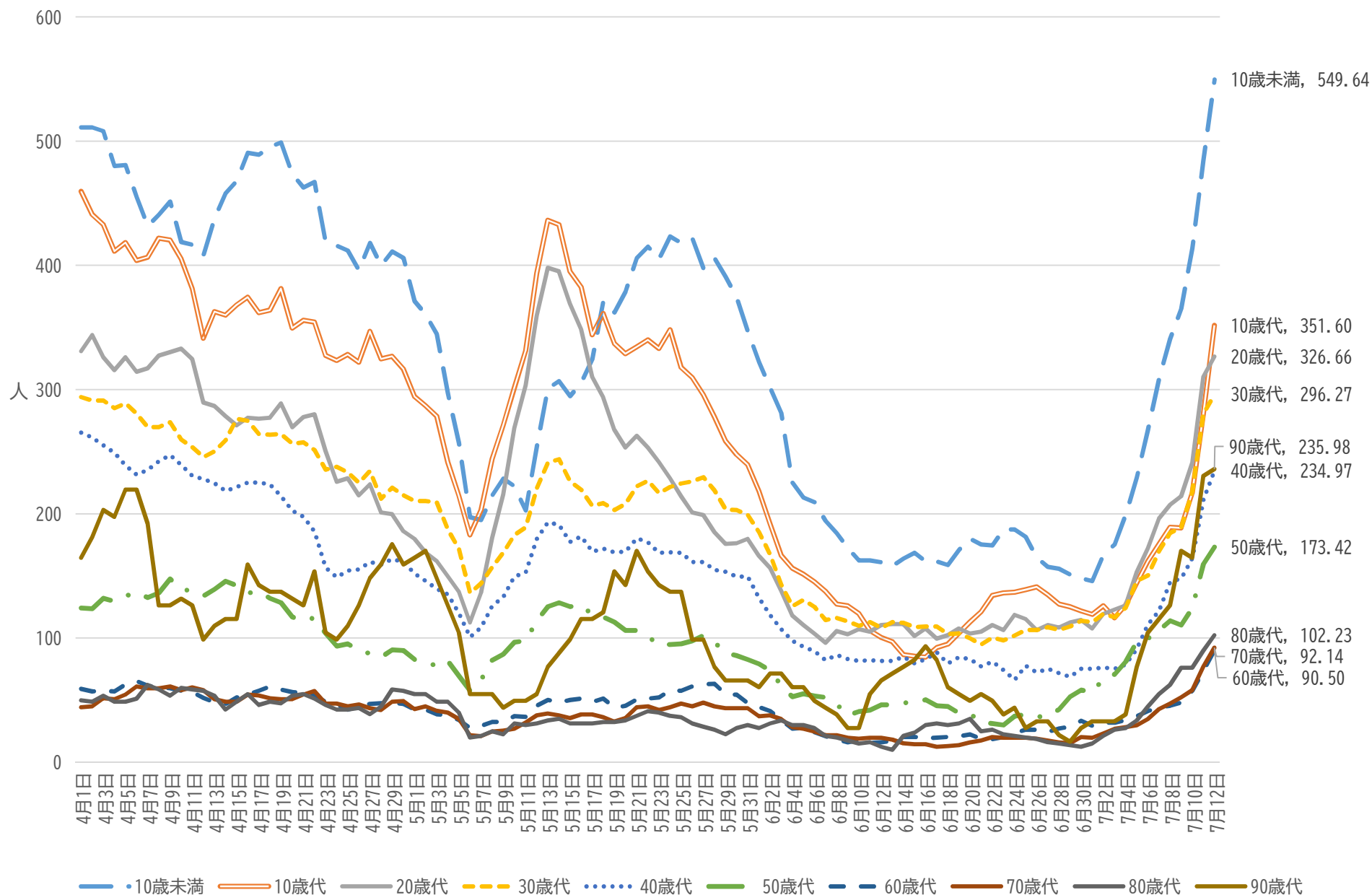
月	火	水	木	金	土	日	週合計	今週/先週比
6/6	6/7	6/8	6/9	6/10	6/11	6/12	1036	0.80
70	188	177	152	153	175	121		
6/13	6/14	6/15	6/16	6/17	6/18	6/19	1051	1.01
69	202	152	168	152	146	162		
6/20	6/21	6/22	6/23	6/24	6/25	6/26	1073	1.02
85	166	201	157	179	170	115		
6/27	6/28	6/29	6/30	7/1	7/2	7/3	1184	1.10
76	148	211	200	152	272	125		
7/4	7/5	7/6	7/7	7/8	7/9	7/10	2423	2.05
174	363	396	404	333	352	401		
7/11	7/12	7/13	7/14	7/15	7/16	7/17		
808	740							

黄色は先週の同じ曜日から増

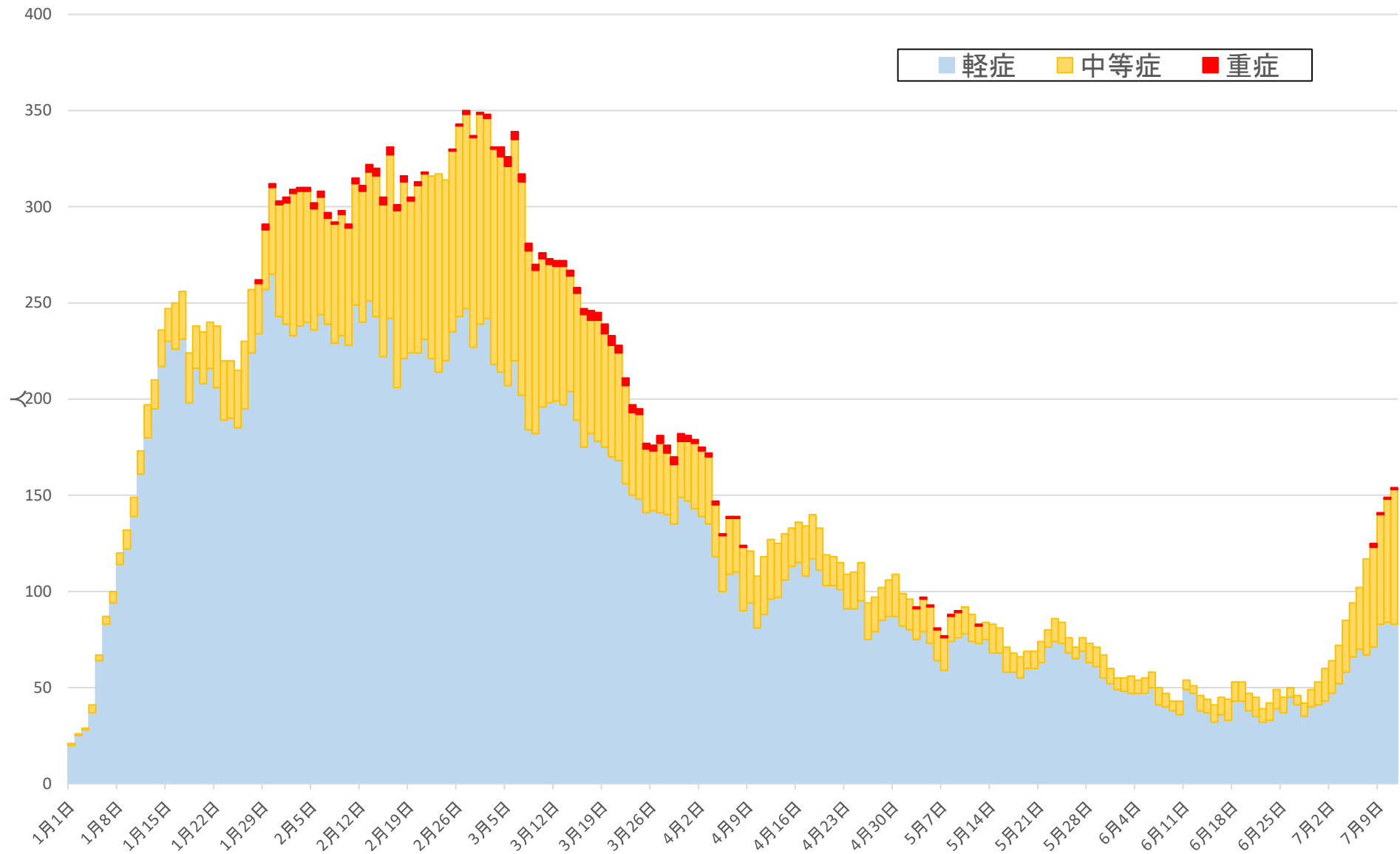
保健所別10万人あたりの新規感染者数(直近7日間の累計患者数) (R4.4/1~7/12) 日別・公表日



滋賀県 年代別10万人あたり新規陽性者数推移(直近7日間の累計患者数) (R4.4/1~7/12) 日別・公表日

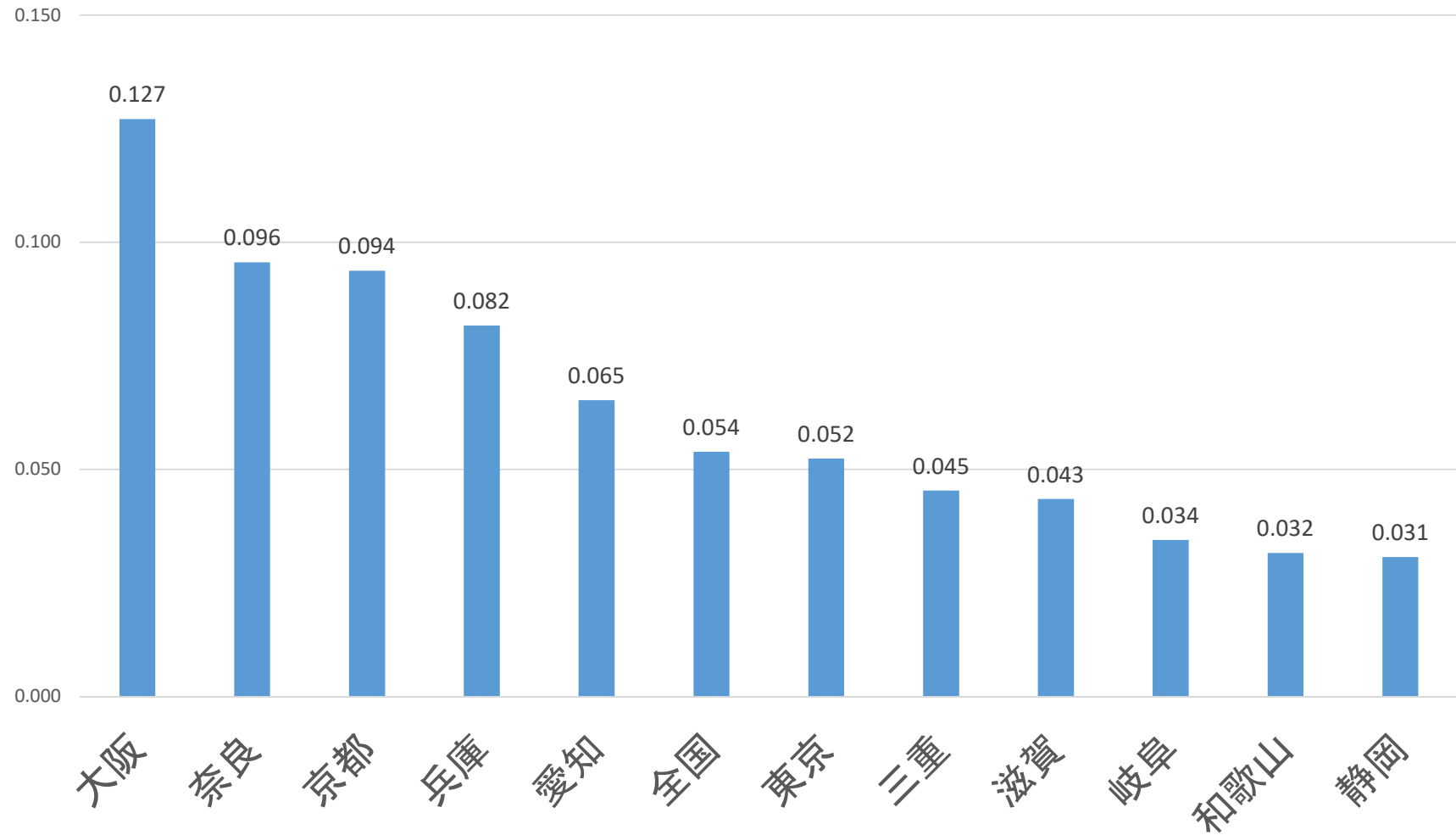


滋賀県 入院者の重症度推移(R4.1/1~7/11)日別・公表日



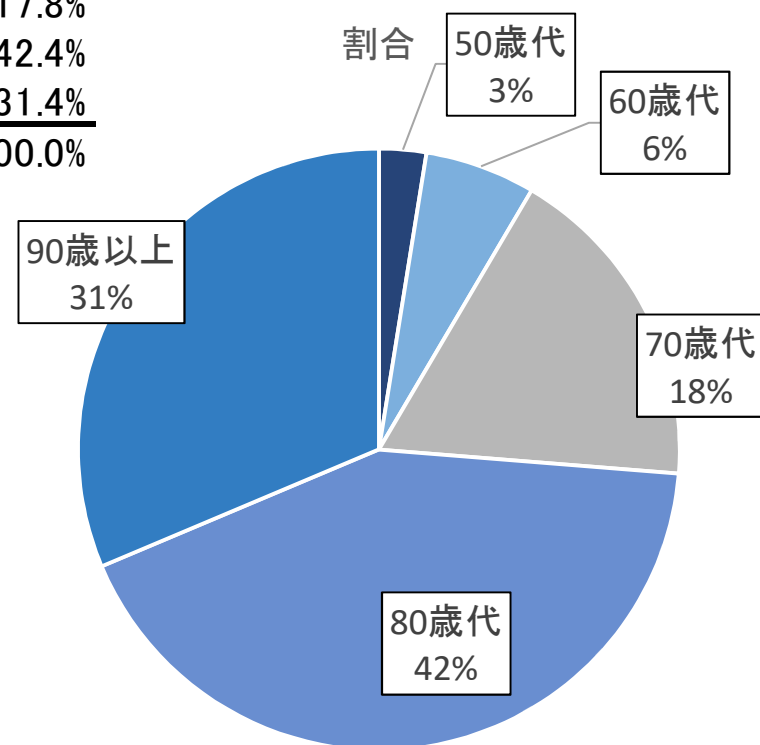
コントロールセンター通信より

オミクロン株の1日当たりの10万人当たりの死亡人数(平均値) (R4.1.1~7.11)



滋賀県 年代別の死亡者数と割合(公表日:R4.1.1~7.12)

年代	死亡者数	割合
10歳未満	0	0.0%
10歳代	0	0.0%
20歳代	0	0.0%
30歳代	0	0.0%
40歳代	0	0.0%
50歳代	3	2.5%
60歳代	7	5.9%
70歳代	21	17.8%
80歳代	50	42.4%
90歳以上	37	31.4%
合計	118	100.0%



評価

- 全国的に新規陽性者数の増加が見られ、連日、前週の約2倍となっており、実行再生産数は1.67となりました。明らかな増加傾向にあり、一部の地域では過去最多を更新するなど急激な増加が見られています。
- 本県も新規陽性者数が4週連続で前週よりも多くなり、今週先週比が2.05と急増しています。曜日別では、11日連続で前週の同じ曜日よりも多く、前週の2倍以上となった日も多くあります。年代別では、30歳代以下の若年層で急増が見られ、特に10歳未満の増加が顕著です。保健所別では全地域で増加傾向となっています。
- オミクロン株BA.5への置き換わりも増加の背景にあると言われてはいますが、現在のところ明確ではありません。2020年、2021年ともに7月から8月にかけて新規陽性者数が全国的に増加しており、現在の全国の動向からも今後も増加傾向が続くことが考えられます。
- 最大確保病床に対する占有率は34.7%となり、新規陽性者数の増加とともに、中等症の患者数も増加し、重症患者も出てきています。高齢者で重症化リスクが高いことは知られており、高齢者層に感染拡大しないようにしていく必要があります。
- 医療機関、高齢者施設等で継続的にクラスターが確認されています。個人および組織での基本的な感染対策を改めて確認・徹底する必要があります。
- 気温が上昇する時期であり、冷房のため窓を閉め切ることが多くなっていることが想定されます。密閉空間では感染リスクが増加します。一般的なエアコンでは換気できないため、冷房中も常時換気が必要です。
- ワクチン接種についても、効果は徐々に減弱します。3回目・4回目の追加接種の対象者は計画的な接種が必要です。50歳未満の若い年代の一層のワクチン接種を進めることも重要です。

第7波の非常事態に備えた医療体制の確保

医療体制の現状（7月12日現在）

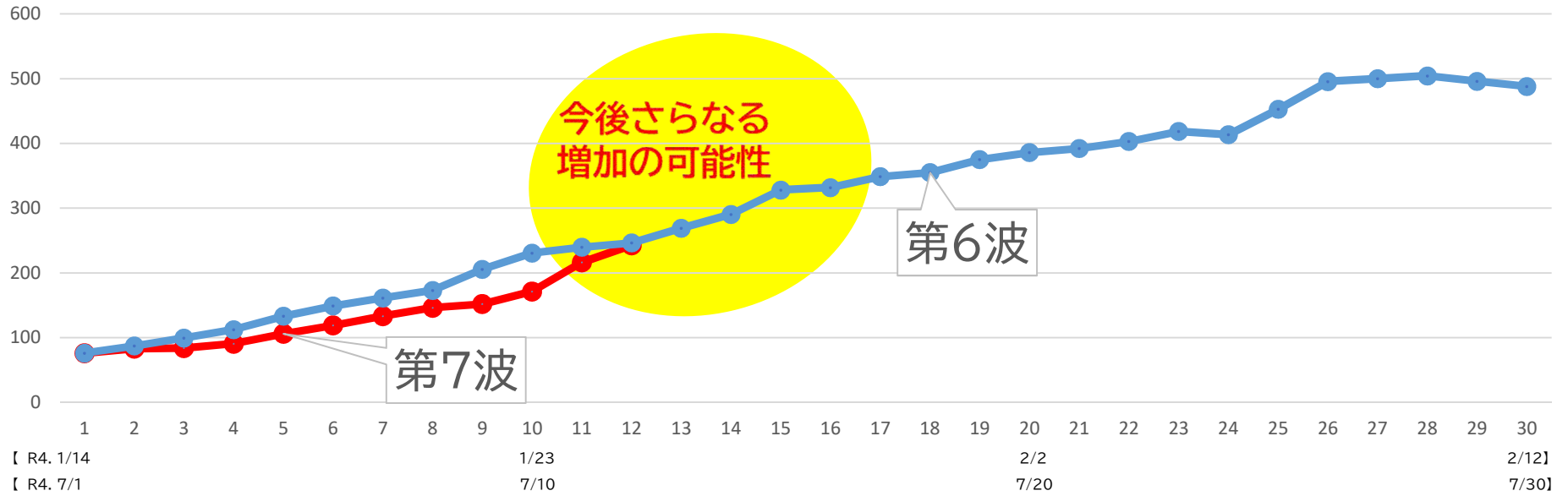
現時点の確保病床の占有率	44.0%
重症者病床の占有率	2.0%
宿泊療養施設の占有率	26.2%

- 第6波と同様に急激な感染拡大が予測される状況下であり、医療体制の非常事態に至る前に緊急的な対応に移行する。
- 緊急的な対応に早期に移行し、第7波に備えて強化した調査・検査体制、療養体制等をしっかりと機能させることで、感染拡大時であっても安心して療養していただける体制をあらかじめ確保する。

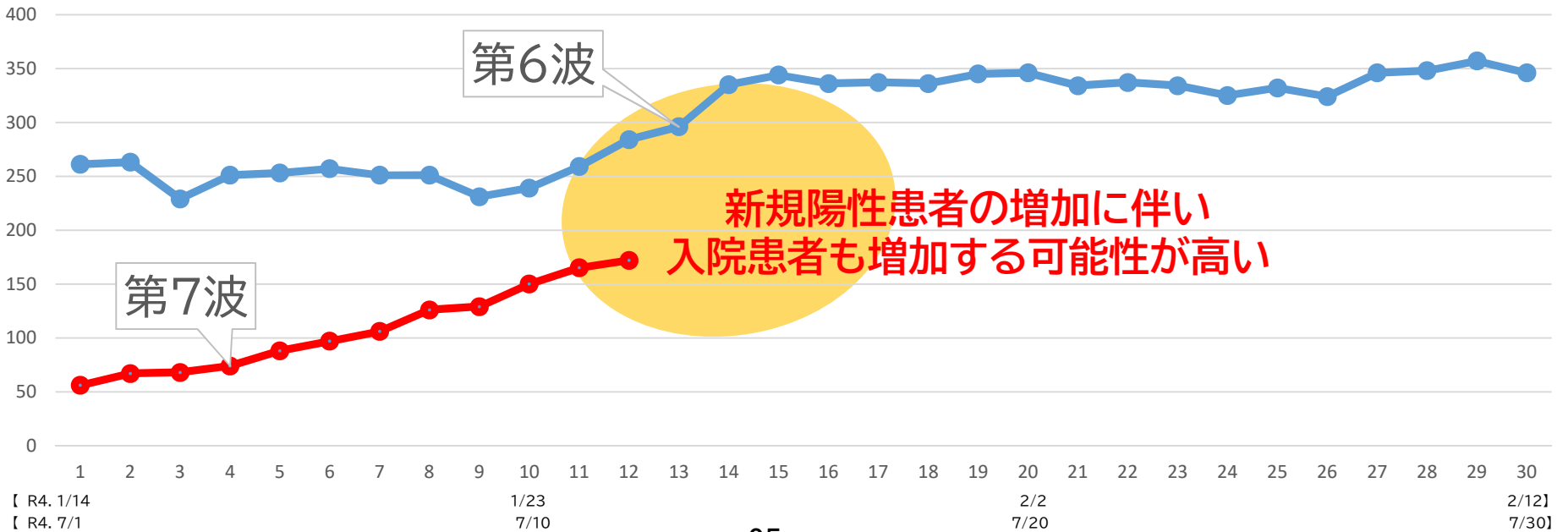
緊急的な対応

- ① 計画上の最大病床数495床を運用できるよう医療機関に要請。
- ② 臨時の医療施設(滋賀県安心ケアステーション)の運用に向けた準備を開始。
- ③ コントロールセンターの人員を増強するとともに移送手段についても増強し、感染拡大に対応できる入院・搬送調整機能を確保。

①感染が急拡大した時期(第6波、第7波)直近1週間における人口10万人当たりの新規陽性者数の推移



②感染が急拡大した時期(第6波、第7波)における入院患者数の推移



第7波に備えた保健・医療提供体制

①調査・検査体制の強化

- 高齢者施設等への従事者に対する一斉検査を実施
- イベントベースサーベイランス事業における検査範囲拡大の継続
- 感染拡大への備えとして抗原定性検査キットを確保
- 診療・検査医療機関ごとに受付時間や注意事項等の情報をHPに公表

②重症化リスクの高い方への療養体制の強化

- ホテルピアザびわ湖を高齢者等のための宿泊療養施設として運用
- コントロールセンター内に介護コーディネーターを配置
- 高齢者施設等への感染管理の支援等を行う施設内療養等支援体制を強化
 - 各施設管理者等に対する一元的な専用相談窓口を設置
 - 施設の嘱託医等の協力が得られるよう要請。嘱託医等の協力が困難な場合であっても、電話・オンライン相談等の活用により施設内療養者を速やかに医療につなぐ体制を強化

③自宅療養体制の強化

- 保健所業務を一部外部化し、滋賀県自宅療養者等支援センターを設置
 - 保健所、支援センターが重症化リスクに応じて健康観察を実施
 - 自宅療養者等に対する一元的な専用相談窓口を設置

感染拡大に応じた調査・検査体制の拡大について

① イベントベースサーベイランス事業における検査範囲拡大の継続

- イベントベースサーベイランス事業は、高齢者施設や学校等が普段と異なる風邪様症状者の発生などを捉えた際に、一斉の検査を行い、クラスターを早期探知、早期介入することによって大規模化を抑止する事業
- 感染拡大の状況を踏まえ、一人でも風邪様症状者の発生がある場合は検査対象とする受付条件の緩和を継続中
- 今後、イベントベースサーベイランス事業の積極的活用について再周知する予定

4月1日～7月11日までの実績：結果判明：417施設（12,879名）うち619名陽性（陽性率4.8%）

② 高齢者施設等の一斉検査の早期開始

- 大型連休後の感染拡大を抑制するため、5月11日から6月10日まで、重症化しやすい方が多数いる高齢者施設等の従事者を対象に集中的・一斉的な検査を実施
- 今般の新規感染者数の急増を受け、7月下旬から8月にかけて、高齢者施設や障害者施設に加え、集団生活を行う保育関連施設等の従事者まで対象を拡大した集中的・一斉的な検査を実施予定

5月11日から6月10日までの実績：結果判明：432施設（8,102人）うち5名陽性（陽性率0.06%）

変異株にかかるゲノム解析状況について

■全国の状況について

感染・伝播性の増加や抗原性の変化が懸念される新型コロナウイルス(SARSCoV2)の変異株について(第18報)(2022年7月1日 国立感染症研究所)抜粋

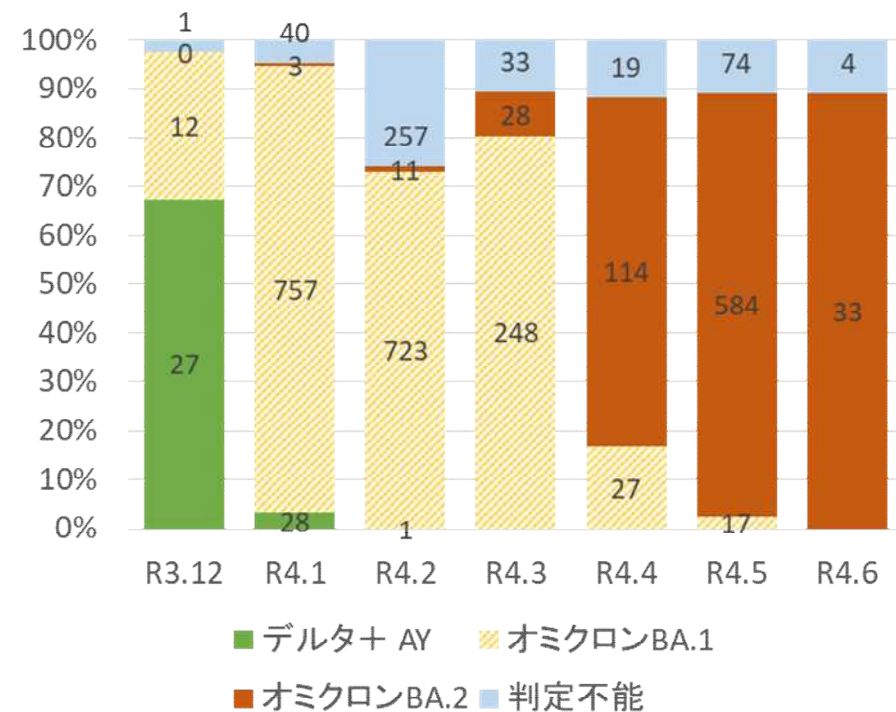
【BA.4系統、BA.5系統】

- BA.4系統、BA.5系統、BA.2.12.1系統は一部の国でBA.2系統から置き換わると共に、BA.2系統と比較して感染者増加の優位性や免疫逃避が指摘されている。
- BA.4系統、BA.5系統、BA.2.12.1系統いずれも既存のオミクロン株と比較して重症度の上昇につながる証拠はみられない。
- 6月24日時点で、BA.4系統及びBA.5系統は検疫及び国内で検出されており、国内の一部の地域ではBA.5の検出割合が上昇しているとの報告がある。
- 既存のオミクロン株と比較して感染者増加の優位性が指摘されているため、今後国内でBA.5の占める割合が上昇する可能性があり、感染者数、重症者数の推移を注視すると共に、引き続き諸外国の状況や知見等の収集、国内外のゲノムサーベイランスによる監視を継続する必要がある。

■滋賀県内の状況について

- ゲノム解析についてはサーベイランスを目的に5~10%検査するとされているところ。結果判明には2~3週間必要。
- 本県では、全陽性者の6%程度に対してゲノム解析を実施しており、1月1日から7月9日までに3,033件のゲノム解析結果が判明している。
- 1月にBA.2系統の初発例が確認され、現在までに計773例の感染例を確認しており、ゲノム解析結果のうち、BA.2系統の割合は6月時点で89.2%と県内で置き換わりが確認されている。
- なお、県内ではBA.4系統およびBA.5系統は確認されていない(7月9日現在)。

ゲノム解析結果(検体採取日別 月報)

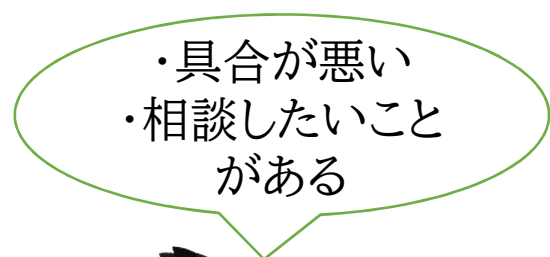


(1)今後の自宅療養体制について(7月15日から運用開始)

次の感染拡大に備えて、保健所業務のひっ迫を防ぎ、適切なフォローアップを含む自宅療養体制が維持できるよう保健所業務を一部外部化し、滋賀県自宅療養者等支援センターを設置する。

《今後の対応》

- ✓ 保健所、支援センターが重症化リスクに応じて健康観察を実施。
- ✓ 支援センター内に24時間受付の相談窓口を設置し、自宅療養中(施設内療養を含む)に体調が変化した方等を適切に医療につなぐ。
- ✓ 濃厚接触者に対する健康観察業務等は支援センターで一元的に対応。
- ✓ 食料品支援、パルスオキシメーターの配布、療養証明書の発行等事務についても一元的に対応。



自宅療養者



滋賀県自宅療養者等
支援センター

①医療面でのフォロー

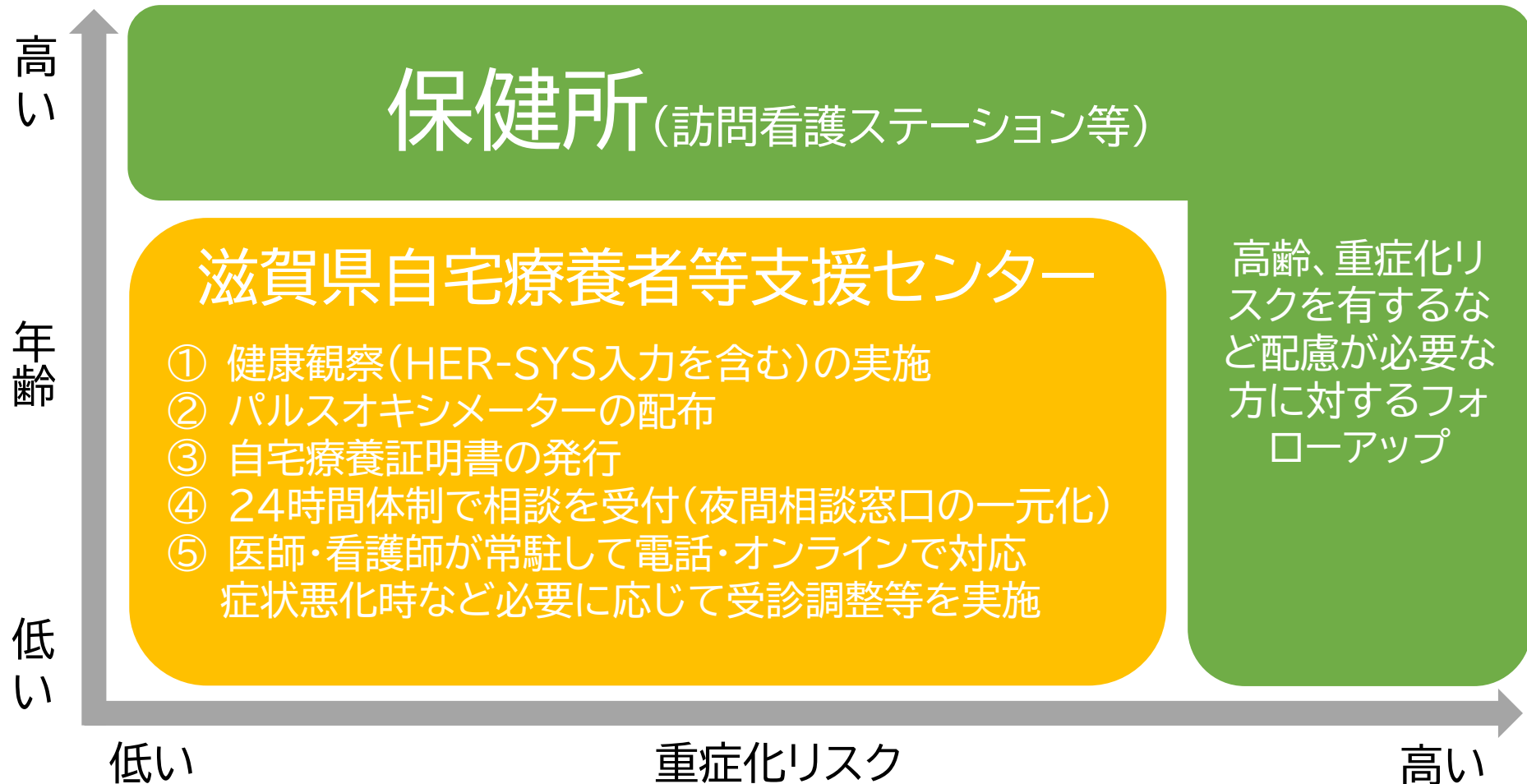
- 電話・オンラインによる症状確認
- 受診調整等
- 必要がある場合、入院調整依頼

②その他の相談

- 療養中の不安や困りごとなど
- 食料品の支援/療養証明等の手続き
- HER-SYSの入力方法 等

(2) 自宅療養者へのフォローアップ体制(イメージ)

- 自宅療養者のうち、重症化リスクが高い方等※に対して、保健所による健康観察を実施。その他の方については、「滋賀県自宅療養者等支援センター」による健康観察等を実施



※療養者の年齢(65歳以上かどうか)や、慢性呼吸器疾患(COPD等)、慢性腎臓病、糖尿病、肥満(BMI30以上)等、重症化リスク因子の保有状況等を踏まえ保健所が判断

「コロナとのつきあい方滋賀プラン」におけるレベルについて

本県の現状は、6月下旬ごろから新規陽性者数が徐々に増加し、7月に入り急激な増加が見受けられているところ。

そのことに伴い、7月7日には最大確保病床の使用率がレベル2の判断基準としている「20%」を超える状況となったが、重症者病床の使用率が継続して低位であることなどを踏まえ、「レベル1」としてきたところである。

しかしながら、最大確保病床の使用率の上昇が継続している状況を踏まえ、「レベル2」にあると判断する。

判断指標		レベル2の基準	現在の状況 (7月12日時点)
医療体制等への負荷	①最大確保病床の使用率	最大確保病床の使用率 ^{※1} 20.0%以上	最大確保病床の使用率 ^{※1} 34.7%
	②重症者用の最大確保病床の使用率	最大確保病床の使用率 ^{※2} —	最大確保病床の使用率 ^{※2} (2.0%)
感染状況	③新規報告数	—	(242.9)

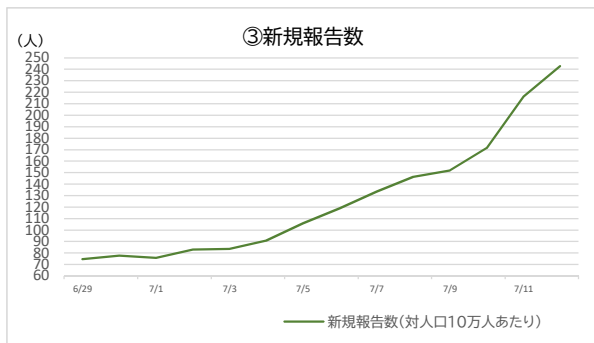
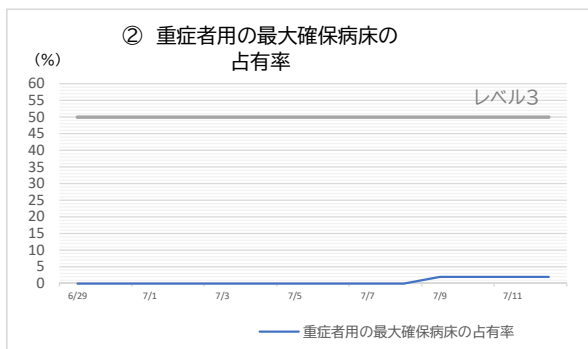
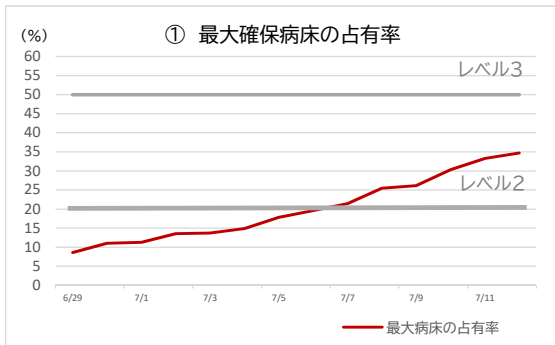
*1 「最大確保病床の使用率」は、495床に対する割合

*2 「うち重症者用病床の最大確保病床の占有率」は、49床に対する割合

【参考】

■レベル判断指標の推移について

判断指標		レベル2	6/29	6/30	7/1	7/2	7/3	7/4	7/5	7/6	7/7	7/8	7/9	7/10	7/11	7/12
医療体制等への負荷	①最大確保病床の使用率(%)	20%	8.6	11.0	11.3	13.5	13.7	14.9	17.8	19.6	21.4	25.5	26.1	30.3	33.3	34.7
	②重症者用の最大確保病床の占有率(%)	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.0	2.0	2.0	2.0
感染状況	③新規報告数(人) (対人口10万人)	—	74.7	77.7	75.8	83.0	83.7	90.7	105.9	119.0	133.4	146.2	151.8	171.4	216.2	242.9



■レベル判断指標について

レベル判断については、参考指標も考慮し、総合的に判断を行う。判断にあたっては、専門家の意見も聴取

判断指標		レベル4 避けたいレベル	レベル3 対策を強化すべきレベル	レベル2 警戒を強化すべきレベル	レベル1 維持すべきレベル <small>安定的に一般医療が確保され、新型コロナウイルス感染症に対し医療が対応できている状況</small>	レベル0 感染者ゼロレベル
医療体制等への負荷	①最大確保病床の使用率	入院が必要な新型コロナウイルス感染症患者へ入院加療を提供できない状態	50%以上	20%以上	—	—
	②重症者用病床の最大確保病床の使用率	—	50%以上	—	—	—
感染状況	③直近1週間の新規報告数(人口10万人あたり)	—	—	—	レベルアップ時 10人以上 レベルダウン時 減少傾向	10人未満

【参考指標】

- ・大阪府、京都府等の近隣府県の感染状況
- ・直近1週間と先週1週間の比較
- ・実効再生産数(Rt)
- ・人口10万人当たりの全療養者数
- ・入院率
- ・感染経路不明割合
- ・PCR等検査陽性率

「コロナとのつきあい方滋賀プラン」 に基づく対応について

(令和4年7月13日)

■ 「レベル2」へ移行

(警戒を強化すべきレベル)

基本的な感染対策を徹底しながら、

日々の活動を続けよう!!

基本的な感染対策の徹底！ ~ ワクチン接種後も継続 ~

- 手洗い、場面に応じたマスクの着用、密の回避(常時換気、距離の確保)などの徹底を！

熱中症予防と感染対策の両立を！

- マスクが不要な場面では外して！(別添1)
- エアコン使用中でも常時換気を心がけて！

- 「うつさない」「うつらない」行動を！

会食について

- 会食は**認証店舗**で感染リスクを下げる工夫を！



ワクチン接種について

別添2参照

- まだ3回目を受けていない方、特に12歳～39歳の若い世代の方は、積極的な接種の検討を！

無料検査の受検について(～当面の間)

- 感染不安を感じる無症状の方は、無料検査実施事業者での検査受検を！

WITH マスク



着けてよし！外してよし！みんなよし！！

熱中症予防のためにも過剰なマスク着用は控えましょう

県民みんなでお互いを尊重しながら暮らしましょう



屋外において
他の方と十分な
距離が取れる時

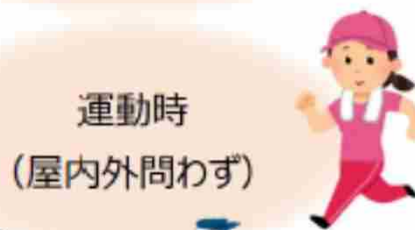


屋内において
2 m程度の距離があり
かつ、会話がな
い時

**マスクが
不要な場面**



外出時に屋外で
すれ違う程度



運動時
(屋内外問わず)



未就学児
(屋内外問わず)



※ 2歳以上の子どもの着用は一律には求めています。マスクを着用する場合は、保護者や周りの大人が子どもの体調に十分注意した上で着用しましょう。

※ 接触を伴う運動の場合は、各競技団体が作成するガイドライン等を確認してください。



風邪症状のある時
風邪症状のある人
と接する時

換気が悪い場所



**引き続き
マスクが
必要な場面**

濃厚接触者に
該当する時



屋外であってもイベント
など大人数の時



対面で
会話をする時



※詳細につきましては、厚生労働省・文部科学省のホームページをご覧ください

「滋賀県夏休みワクチン接種促進強化期間」を実施します！！

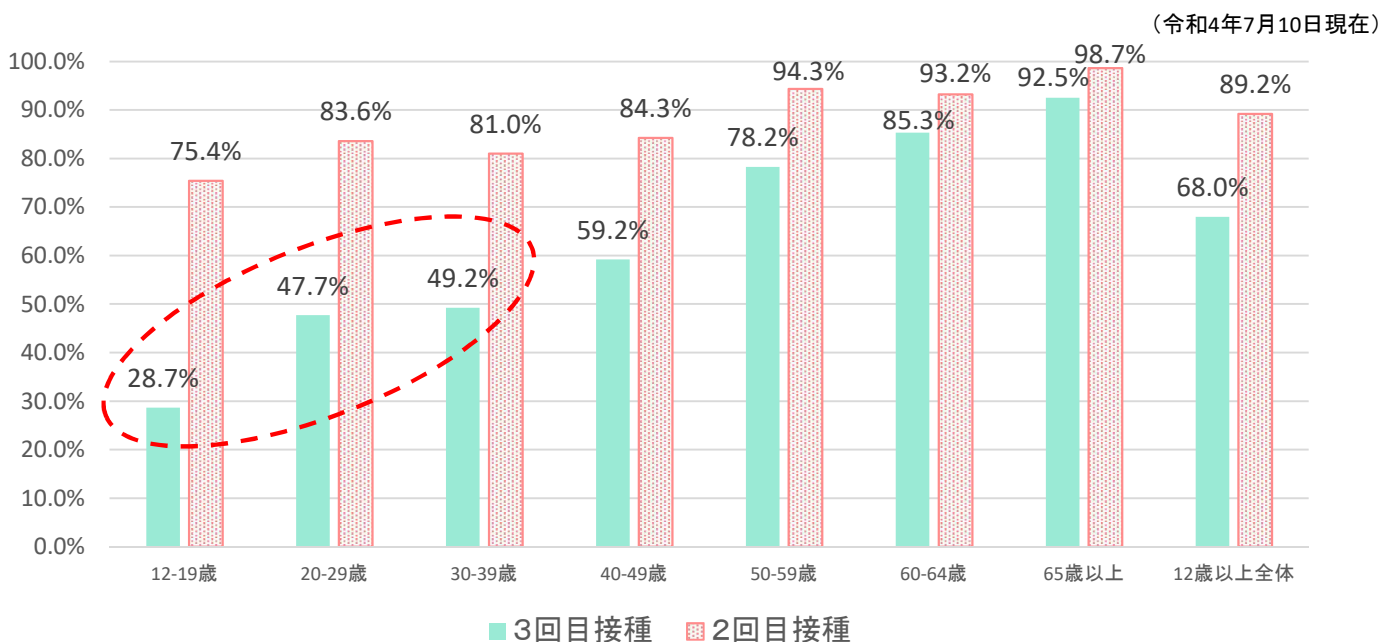
- 7月以降、夏休みなどを迎え、日ごろ出会わない人と接する機会が増加すると予想されます。
- ワクチン追加接種を受けることにより、自分自身が感染しにくくなるとともに、家族や友人、同僚を守る効果が期待できます。
- 自分と大切な人を守るため、夏休みを活用するなど、早期のワクチン接種を是非ご検討ください。



期間:令和4年7月21日(木)から8月15日(月)まで

ワクチン3回目接種率と2回目接種率との比較 (滋賀県)

特に10代から30代の方は3回目接種が進んでいません。



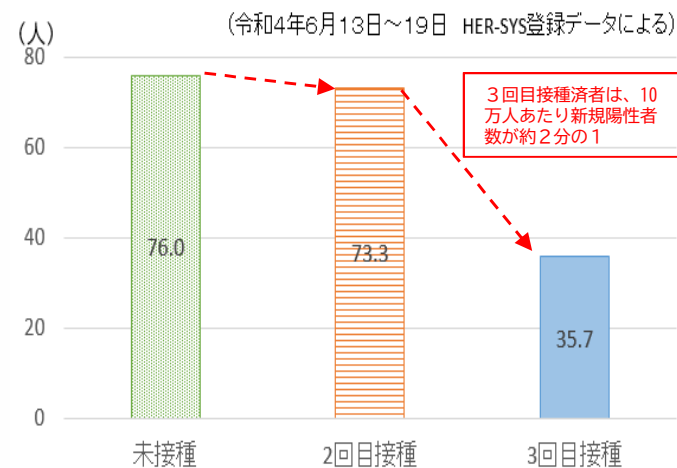
3回目接種の効果

多くの方は、2回目接種後の時間経過によりワクチンの効果が減退していると考えられます。長崎大学等の研究チームによると、オミクロン株であっても3回目を打つことで有効性が上昇するとされています。

発症予防効果におけるワクチンの有効性 (16歳～64歳)



全国の10万人あたり新規陽性者数 (12歳～64歳)



新型インフルエンザ等対策特別措置法 第24条第9項に基づく要請について

令和4年(2022年)7月13日
滋賀県新型コロナウイルス
感染症対策本部

新型インフルエンザ等対策特別措置法第24条第9項に基づき、下記のとおり協力の要請を行う。

記

1 感染対策の徹底

- ・ 基本的な感染対策(手洗い、マスクの着用(※)、密の回避(常時換気、距離の確保)など)の徹底
 - ※ 熱中症予防のためにも過剰な着用は控える
- ・ 会食は認証店舗で感染リスクを下げる工夫をして行う。
- ・ 家庭でも、咳エチケット、常時換気、取手・ノブなどの共用部分の消毒等、感染対策を徹底
- ・ 家族以外の方と接する場面では、感染リスクが高まる「5つの場面(※)」に注意
 - ※ ①飲酒を伴う懇親会、②大人数や長時間におよぶ飲食、③マスクなしでの会話
④狭い空間での共同生活、⑤仕事から休憩室などへの居場所の切り替わり
- ・ 発熱等の症状がある場合は、自宅で休養

2 施設・事業所における感染防止策の徹底

- ・ 業種別感染拡大予防ガイドラインに基づく感染防止策の徹底。利用者にも感染防止策への協力を依頼
- ・ テレワーク・時差出勤の活用など職場での感染対策を行う。

3 無料検査の受検について(当面の間)

- ・ 感染リスクが高い環境にある等のため感染不安を感じる無症状の方(※)は、無料検査実施事業者での検査を受検
 - ※ 滋賀県在住者。ワクチン接種の有無は問わない。

4 イベント開催について(当面の間)

(1) イベントを開催する場合は以下の目安で開催

<基本的な考え方>

必要な感染防止策が担保される場合には、収容率と人数上限でどちらか小さいほうを限度(両方の条件を満たす必要)とする。

時期	感染防止安全計画 ^(※1) を策定したイベント	左記以外のイベント
当面の間	【人数上限】 収容定員まで	【人数上限】 ① 収容定員 10,000 人超 ⇒収容定員の 50% ② 収容定員 10,000 人以下 ⇒5,000 人
	【収容率】 100%	【収容率】 大声あり ^(※2) 50%以内 <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 0 5px; margin: 5px 0;"> 収容定員が設定されていない場合は 十分な人と人との間隔(最低1m) </div> 大声なし 100%以内 <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 0 5px; margin: 5px 0;"> 収容定員が設定されていない場合は 人と人が接触しない程度の間隔 </div>

※1 大声なし、参加人数が 5,000 人超かつ収容率 50%超の大規模イベントを対象に、イベント開催時に必要な感染防止策を検討・記載し、県がその内容の確認および必要な助言等を行うことにより、感染防止策の実効性を担保するもの

※2 「大声」を「観客等が、①通常より大きな声量で、②反復・継続的に声を発すること」と定義し、これを積極的に推奨する、または必要な対策を十分に施さないイベント

(2) 感染防止安全計画の策定等について

- ① 感染防止安全計画を策定にあたり、県 HP を確認の上、所要の手続きを行うこと。
- ② 感染防止安全計画を策定したイベントは、イベント終了後、1か月以内を目途に、結果報告書(県 HP に掲載の様式)を県に提出すること。
- ③ 感染防止安全計画を策定しないイベントについては、感染防止策等のチェックリスト(県 HP に掲載の様式)を作成・公表し、イベント終了日より1年間保管すること。

(3) 業種別ガイドラインについて

イベント主催者等は、(2)の策定等に関わらず、業種別ガイドラインの対策を実践すること。

【滋賀県新型コロナ対策相談コールセンター】

- 電話番号:077-528-1344
- 開設時間:9:00~17:00(平日のみ)

1. 接種状況

(7月10日時点)

〇3回目接種の状況

	滋賀県	全国
接種回数	860,270	78,414,852
接種率 (12歳以上人口)	68.0%	68.4%

年代別内訳

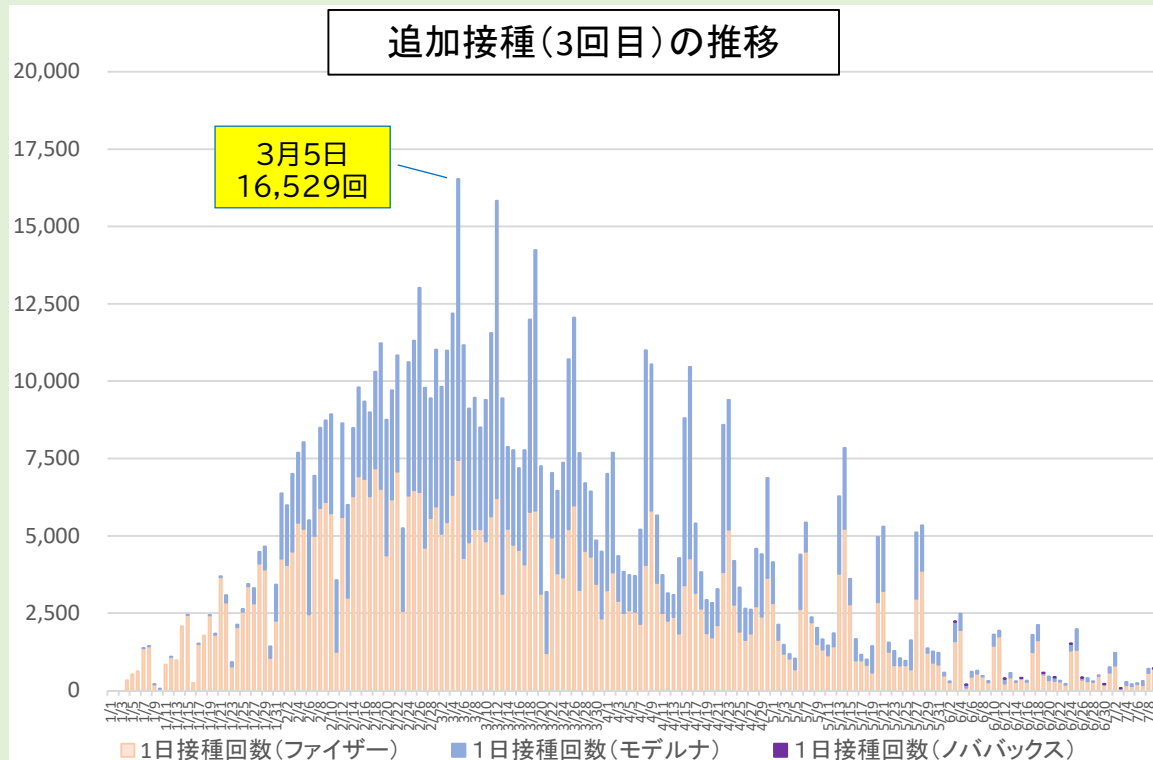
	12～39歳	40～64歳	65歳以上	年齢データ無し
接種回数	182,692	334,908	340,089	2,581
年代別の接種率	43.2%	71.0%	91.8%	—

〇4回目接種の状況

	滋賀県	全国
接種回数 (60歳以上)	25,748	2,237,327
接種率 (60歳以上人口)	5.7%	5.2%

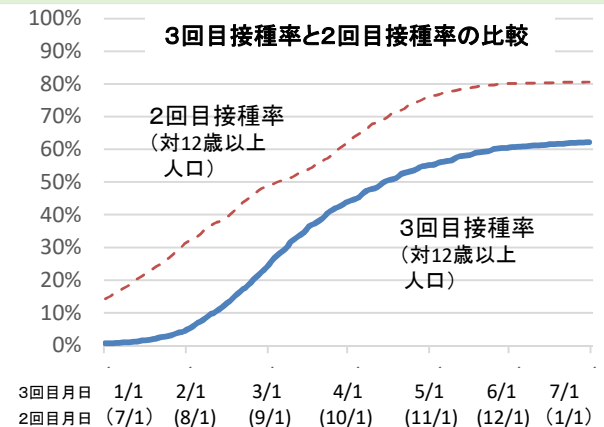
※人口は、令和3年1月1日住民基本台帳年齢階級別人口より推計

追加接種(3回目)の推移



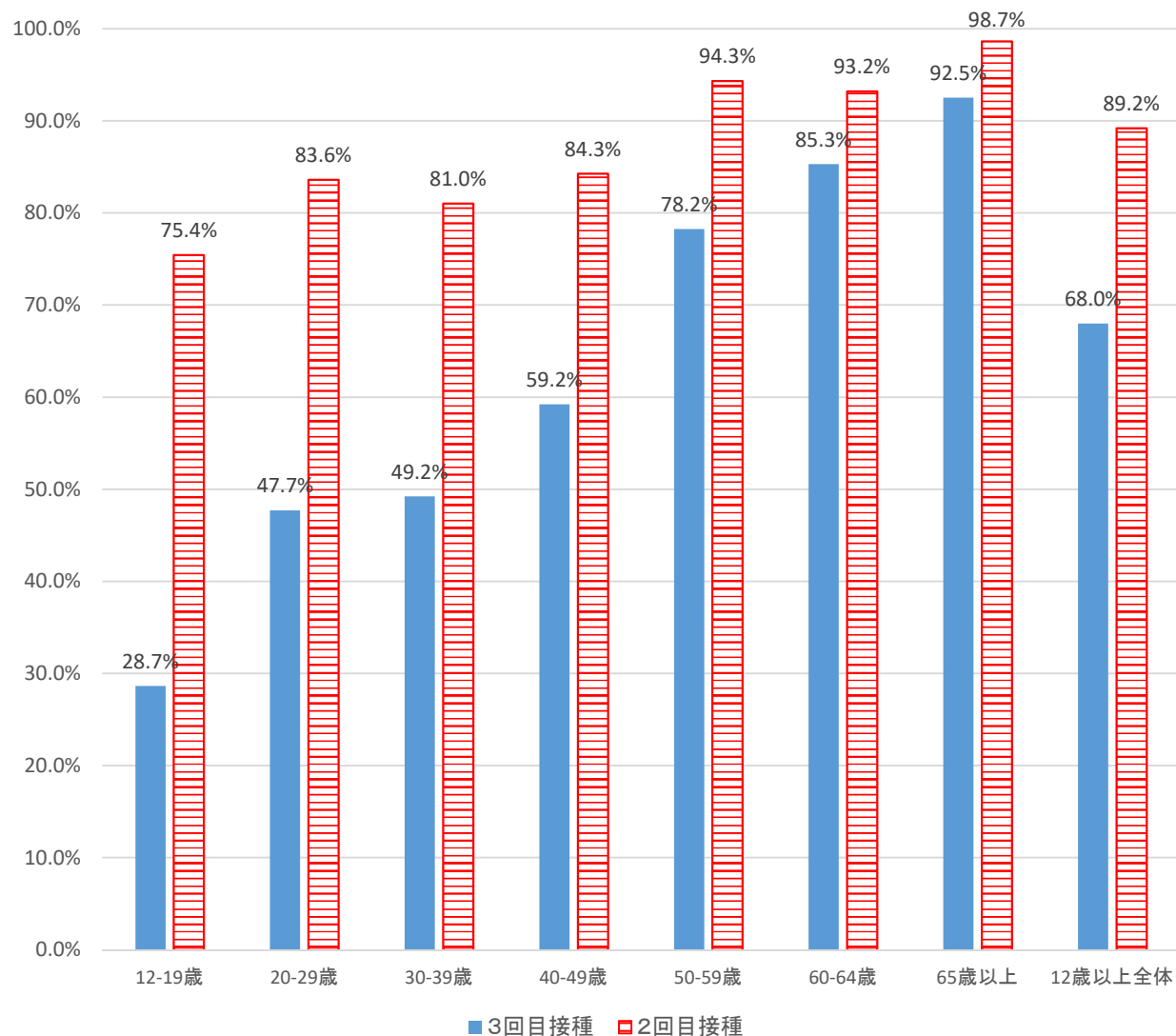
〇5～11歳小児接種の状況

		滋賀県	全国
接種回数	1回目	13,419	1,394,573
	2回目	12,399	1,289,494
接種率	1回目	14.1%	18.8%
	2回目	13.0%	17.4%



1. 接種状況

県内年齢層別の3回目接種率と2回目接種率の比較(令和4年7月10日現在)



3回目接種の年齢階級別接種率 近隣府県等との比較 (令和4年7月10日現在)

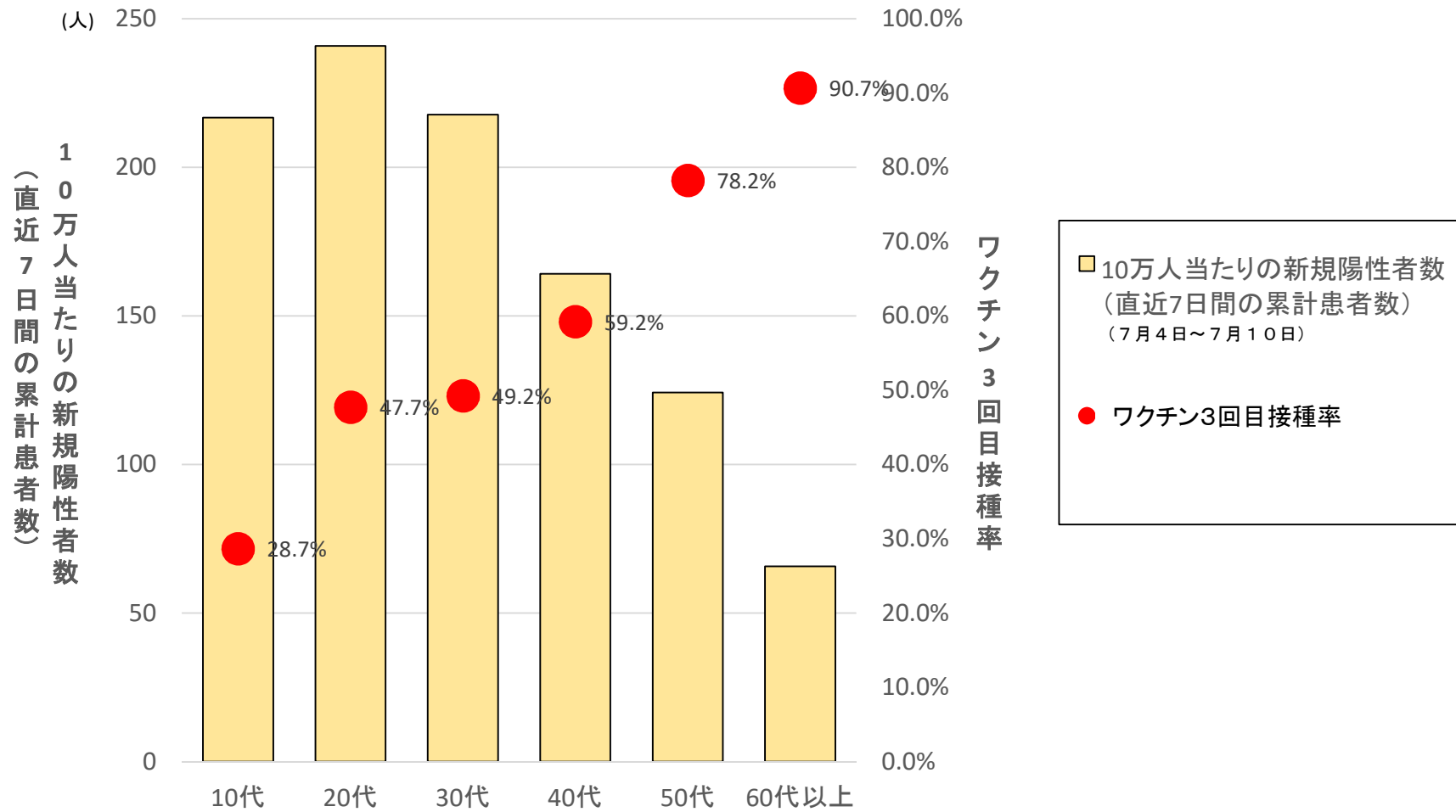
	12~19歳	20歳代	30歳代	40歳代
全国	31.6%	46.4%	50.1%	59.1%
東京都	32.4%	45.3%	52.4%	60.6%
福井県	39.3%	52.5%	52.4%	61.5%
岐阜県	36.1%	50.9%	51.3%	60.6%
三重県	30.5%	47.8%	49.4%	58.2%
滋賀県	28.7%	47.7%	49.2%	59.2%
京都府	23.1%	42.2%	45.2%	53.0%
大阪府	18.1%	36.2%	40.5%	49.8%
兵庫県	22.3%	41.6%	45.5%	54.4%
奈良県	25.0%	44.5%	46.2%	55.3%
和歌山県	26.0%	45.9%	47.5%	55.8%
鳥取県	33.0%	47.9%	48.0%	57.4%
徳島県	30.5%	51.4%	52.0%	60.0%

※出典：首相官邸ホームページ
 ・実績は、VRS（本資料更新日の公表値）により集計
 ・年齢階級不明は、接種記録から除いている

1. 接種状況

県内の10万人当たり新規陽性者数(直近7日間の累計患者数)と3回目接種率との関係

(7月10日現在)



2. 広域ワクチン接種センター

3回目接種の実績



3. 「夏休みワクチン接種促進強化期間」の実施

- 趣旨
 - ・ 2回目接種の効果減退が進んでいる中で、オミクロン株の新系統「BA. 5」への置き換えりによる感染拡大が懸念される。
 - ・ 本県については、全国の水準と比べて、特に若者層の3回目接種が進んでいないことから、市町と連携し、12歳から17歳の3回目接種を含め、接種希望者に対して夏休み期間中の早期接種を呼びかける。
- 期間 7月21日(木)から8月15日(月)まで
- ターゲット 「急いではないが3回目接種を受けたい」と考えている若者層(12歳~39歳)

1 期間中の取組内容

(1) 接種に行く「きっかけ」づくり

① 3回目接種の効果等の理解促進

- ・ 年齢層別3回目接種率、3回目接種率の有効性に関する情報の発信・提供

② 接種終了日等の発信(7月13日時点)

- ・ 市町の集団接種会場・個別接種会場の設置状況、集団接種会場の終了時期等の発信
- ・ 県広域ワクチン接種センター閉所日(8月22日)の発信
- ・ 臨時接種終了日(9月30日)の発信

③ 旅行割引「県民割(ブロック割)」利用希望者への発信

- ・ 「ワクチン3回接種済み」による旅行割引の利用希望者に対して早期接種を呼びかけ

(2) 接種機会の拡大

① 市町独自の取組

- ・ 12歳から17歳への3回目接種の集中的な実施
- ・ 「予約なし接種」の実施 など

② 県広域ワクチン接種センターの取組

- モデルナ社ワクチンの接種機会の拡大
 - ・ 8月22日まで「予約なし接種」を継続
- ノババックスの接種機会の拡大(8月1日~)
 - ・ 接種対象者を県内通勤・通学者、滋賀県出身者等にまで拡大
 - ・ 接種実施日に月曜日(午後)を追加
 - ・ 3回目接種限定の『予約なし接種』を実施

【注意】

本期間中に県内でノババックスを接種可能な会場は、
県広域ワクチン接種センターのみ(令和4年7月13日現在)

3. 「夏休みワクチン接種促進強化期間」の実施

2 「3回目接種」の有効性

長崎大学等の研究チームによると、オミクロン株が広がった1～3月までに10都道府県で新型コロナウイルスの検査を受けた16歳以上(約5000人)の分析の結果、16～64歳で2回目の接種を受けた人の発症予防効果について、ファイザー社ワクチンの有効性は34.2%だった一方、3回目を終えた人は66.1%に上昇し、モデルナ社ワクチンの有効性は43.3%だった一方、3回目を終えた人は75.8%に上昇すると推定されている。

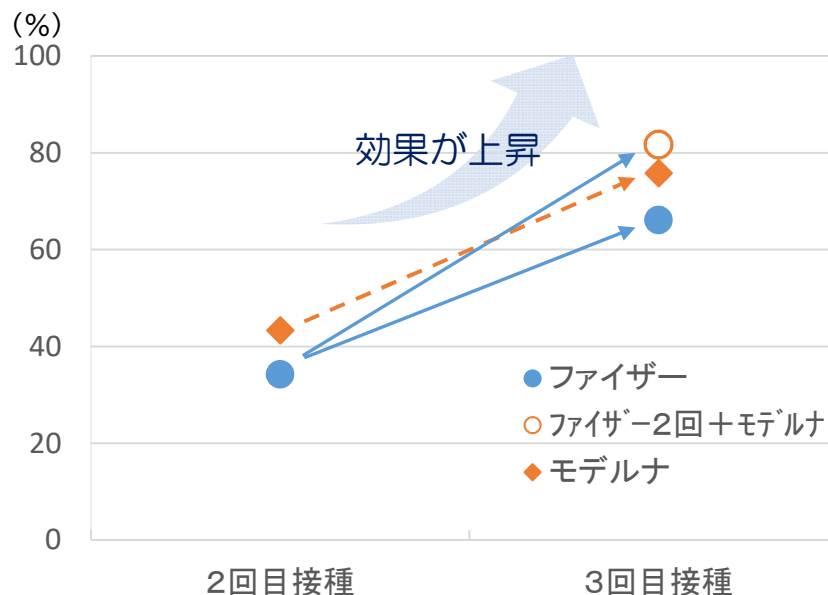
なおファイザー社ワクチンで2回接種後、3回目にモデルナ社ワクチンを接種した場合の有効性は、81.7%と推定されている。

「オミクロン株であっても3回目を打つことで有効性が上昇する。」と結論付けられた。

また、有効性の低下について、デルタ株からオミクロン株への置き換わりのみが原因ではなく、2回目接種完了からの時間経過の違いによる影響も考えられる、と報告されている。

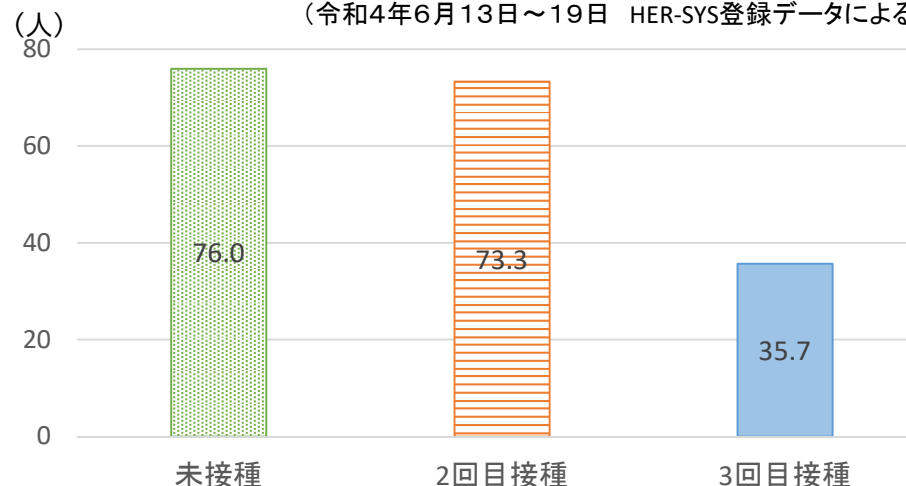
出典：
厚生労働省 新型コロナウイルス感染症対策アドバイザーボード資料
をもとに作成

発症予防効果におけるワクチンの有効性(16歳～64歳)



(参考) 全国の12～64歳の10万人あたり新規陽性者数

(令和4年6月13日～19日 HER-SYS登録データによる)



3.「夏休みワクチン接種促進強化期間」の実施

3 市町の集団接種会場 ① (7月10日現在)

※接種は原則として住民票所在地の市町で受けていただきます。
 ※個別の医療機関での接種や予約方法等、詳細は各市町のホームページからご確認ください。

市町名	会場名	会場住所	ワクチンの種類	対象接種回数				設置期間	備考
				1回目	2回目	3回目	4回目		
大津市	大津市ふれあいプラザ	大津市浜大津四丁目1-1 明日都浜大津4階	モデルナ			○	○	～7月30日	
彦根市	彦根市役所	彦根市元町4番2号	モデルナ			○	○	7月23日、7月24日 7月30日、8月20日	
			ファイザー			○	○	8月6日	
	くすのきセンター	彦根市八坂町1900番地4	ファイザー			○	○	7月23日	
			モデルナ			○	○	8月6日、8月13日	
	みずほ文化センター	彦根市田原町11番地	モデルナ			○	○	7月23日、7月24日	
長浜市	グリーンピアひこね	彦根市清崎町1118番地	ファイザー			○	○	8月11日	
	西友長浜楽市店	長浜市八幡東町9-1	モデルナ			○	○	7月28日、8月7日 8月20日	
	北部健康推進センター	長浜市高月町渡岸寺160	モデルナ			○	○	～8月27日	
近江八幡市	近江八幡市新型コロナウイルス ワクチン集団接種会場 (ホテルニューオウミ)	近江八幡市鷹飼町1481番地	ファイザー	○	○	○	○	～9月30日	
			モデルナ			○	○	～9月30日	
草津市	エイスクエアSARA北館	草津市西浜川一丁目23-1	モデルナ			○	○	～9月(終了日未定)	
守山市	守山市コミュニティ防災セン ター(北消防署)	守山市石田町377-1	モデルナ				○	～9月11日	1～3回目接種については、個 別接種実施医療機関(3回目は 32医療機関)で接種可能
栗東市	アル・プラザ栗東	栗東市総二丁目3番22号	ファイザー	○	○	○	○	～9月30日	
			モデルナ			○	○	～9月中	8月の毎週金曜日17:00～19: 00 予約なし接種
甲賀市	西友水口店	甲賀市水口町水口6084番地1	モデルナ			○	○	～9月9日	7月15日、22日、29日、8月5日は 3回目接種専用枠と予約なし接種 を実施
			ファイザー			○	○	7月16日、23日、30日、 8月6日	12～17歳3回目接種専用枠 (枠に余裕がある場合は、18歳 以上の3、4回目も可)
	信楽開発センター	甲賀市信楽町長野1251番地	ファイザー			○	○	～8月26日	
	甲南病院	甲賀市甲南町葛木958番地	ファイザー			○	○	終了時期未定	
野洲市	イオンタウン野洲	野洲市乙窪 480-1	モデルナ				○	～7月30日	
			ファイザー				○	～8月24日	
湖南市	集団接種会場(市民学習交流セ ンターサンヒルズ甲西)	湖南市西峰町1番地1	モデルナ			○	○	～8月中旬	
高島市	マキノ健康福祉センター	高島市マキノ町蛭口1371番地	モデルナ				○	8月21日	
	今津保健センター	高島市今津町弘川1204番地1	モデルナ			○	○	7月30日、7月31日 8月11日 9月3日、9月4日	
	朽木やまびこ館	高島市朽木市場792番地	モデルナ				○	8月27日	
	高島市役所(新館)	高島市新旭町北畑565番地	モデルナ				○	9月10日、9月11日	
	安曇川保健センター	高島市安曇川町田中89番地	モデルナ			○	○	7月30日、7月31日 8月11日 8月20日、8月21日 8月27日、8月28日	
	アイリッシュパーク	高島市勝野670番地	モデルナ				○	9月4日	

3. 「夏休みワクチン接種促進強化期間」の実施

3 市町の集団接種会場 ② (7月10日現在)

※接種は原則として住民票所在地の市町で受けていただきます。
 ※個別の医療機関での接種や予約方法等、詳細は各市町のホームページからご確認ください。

市町名	会場名	会場住所	ワクチンの種類	対象接種回数				設置期間	備考
				1回目	2回目	3回目	4回目		
東近江市	西友八日市店 2階	東近江市八日市緑町9番30号	ファイザー	○	○	○		～7月30日 (2・3回目) ～8月27日 (1・3回目)	
			モデルナ				○	～7月30日 ～8月27日	
			ファイザー(小児)	○	○			～8月2日 (1回目) ～8月23日 (2回目)	
	旧湖東保健センター 2階	東近江市池庄町466番地	ファイザー	○	○	○		～7月23日 (2・3回目) ～8月20日 (1・3回目)	
			モデルナ				○	～7月23日 ～8月20日	
	やわらぎホール	東近江市躰光寺町254番地3	ファイザー		○	○		～8月6日 (2・3回目)	
モデルナ						○	～8月6日		
米原市	米原市保健センター	米原市長岡1050番地1	モデルナ			○	○	～9月	
			ファイザー			○	○	7月30日、31日	若い世代が3回目接種を受けやすい時期(夏休み期間)に接種機会を設定
	米原市役所旧米原庁舎	米原市下多良三丁目3番地	モデルナ			○	○	～9月	
			ファイザー			○	○	8月4日～8月9日	若い世代が3回目接種を受けやすい時期(夏休み期間)に接種機会を設定
	地域包括ケアセンターいぶき	米原市春照58番地1	モデルナ			○	○	～7月14日	
			ファイザー			○	○	～9月29日	若い世代が3回目接種を受けやすい時期(夏休み期間)に接種機会を設定
近江診療所	米原市新庄77番地1	ファイザー	○	○	○	○	～9月	若い世代が3回目接種を受けやすい時期(夏休み期間)に接種機会を設定	
		ファイザー(小児)	○	○			～9月30日 (月1回程度実施)		
日野町	特設会場	日野町河原一丁目1番地	ファイザー				○	終了時期未定	8月12日～16日まで接種は行いません。
			モデルナ				○	終了時期未定	
竜王町	竜王町公民館	竜王町小口276-1	モデルナ			○	○	8月8日、9日、10日	
			ファイザー			○	○	8月15日、16日、17日	
愛荘町	愛荘町立愛知川公民館	愛知郡愛荘町愛知川13番地2	ファイザー	○	○	○	○	町ホームページをご覧ください	
			モデルナ	○	○	○	○		
豊郷町	豊栄のさと	犬上郡豊郷町四十九院1252番地	ファイザー	○	○	○	○	～8月27日 (1回目) ～9月18日 (2・3・4回目)	
			モデルナ			○	○	7月30日、8月6日	
甲良町	甲良町保健福祉センター	甲良町在士357-1	ファイザー	○	○	○	○	～9月4日	
			モデルナ	○	○	○	○	～9月24日	
多賀町	多賀町総合福祉保健センターふれあいの郷	多賀町多賀221番地1	モデルナ	○	○	○	○	7月25日、8月5日、12日、 9月5日、9日、10日	
			ファイザー	○	○	○	○	8月19日、26日、29日、 9月3日、16日、17日、30日	

3. 「夏休みワクチン接種促進強化期間」の実施

4 県広域ワクチン接種センターの接種対象者・運営時間等

	3回目接種（モデルナ社ワクチン）	4回目接種（モデルナ社ワクチン）	武田社ワクチン（ノババックス）接種
接種対象者	<ul style="list-style-type: none"> ・3回目接種券をお持ちの方 ・2回目接種後 <u>5カ月</u>以上経過した方 ・<u>18歳以上</u>の方 	<ul style="list-style-type: none"> ・4回目接種券をお持ちの方 ・3回目接種後 <u>5カ月</u>以上経過した方 ・<u>60歳以上</u>の方 ・<u>18歳以上60歳未満で、基礎疾患のある方、その他重症化リスクが高いと医師が認める方</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ・1回目・2回目接種券または3回目接種券をお持ちの方 ・1回目と2回目の接種間隔 1回目にノババックスを接種 →3週間後 1回目に他社ワクチンを接種→4週間以上経過後 ・2回目と3回目の接種間隔 2回目接種から <u>6カ月</u>以上経過後 ・<u>18歳以上</u>の方
	<ul style="list-style-type: none"> ・県内に住民票のある方 ・県内の事業所または学校に通勤通学している方 ・県内に本拠をおく事業所・学校に在籍する県外在住者 ・県外在住の滋賀県出身者(家族含む) 	<ul style="list-style-type: none"> ・県内に住民票のある方 ・県内の事業所または学校に通勤通学している方 ・県内に本拠をおく事業所・学校に在籍する県外在住者 ・県外在住の滋賀県出身者(家族含む) 	<ul style="list-style-type: none"> ・県内に住民票のある方 【8月1日の接種から接種対象者に下記の方を追加】 ・<u>県内の事業所または学校に通勤通学している方</u> ・<u>県内に本拠をおく事業所・学校に在籍する県外在住者</u> ・<u>県外在住の滋賀県出身者(家族含む)</u>

運営時間	7月 受付時間				8月 受付時間				
	曜日	午前	午後	夜間	曜日	午前	午後	夜間	
	金	10:30~11:30	13:30~16:30	18:30~20:00	金	10:30~11:30	13:30~16:30	18:30~20:00	
	土		モデルナ	モデルナ	土		モデルナ	モデルナ	
	日	17日	モデルナ	13:30~16:15 ノババックス		日	モデルナ	ノババックス(2回目・3回目)	
		24日	モデルナ	13:30~15:00 モデルナ	16:00~16:15 ノババックス	月	モデルナ	ノババックス(3回目)	
		31日	モデルナ	13:30~16:15 ノババックス					
	月	モデルナ	モデルナ						

★『予約なし接種』受付時間（注意：予約済の方と受付時間が異なります。）

7月			
曜日	午前	午後	夜間
金	10:30~11:30	14:00~16:00	19:00~19:30
土		モデルナ	モデルナ
日	17日	モデルナ	
	24日	モデルナ	14:00~15:00 モデルナ
	31日	モデルナ	
月	モデルナ	モデルナ	

8月			
曜日	午前	午後	夜間
金	10:30~11:30	14:00~16:00	19:00~19:30
土		モデルナ	モデルナ
日	モデルナ	ノババックス(3回目)	
月	モデルナ	ノババックス(3回目)	

接種会場	南部会場 ・ 北部会場
予約方法等	インターネット(県ホームページ 滋賀県広域ワクチン接種センター予約サイト)

3. 「夏休みワクチン接種促進強化期間」の実施

5 集中的な広報・情報発信

<県と市町との連携>

- ①市町の若者層対象の優先接種等の情報を県からも幅広く発信
- ②被接種者の希望や都合にあわせて、市町から県広域ワクチン接種センターの紹介・案内 など

<若者層をターゲットとした集中的な情報発信>

- ①優先接種関係団体、経済団体、職域接種未実施企業、大学等を通じた若者層への発信
- ②テレビ、ラジオ、SNS、インターネット等様々な広報媒体の活用

(主な内容)

- 市町の若者層対象の取組や集団接種会場等に関する情報
- 県広域ワクチン接種センターにおける「ノバボックス接種」や「予約なし接種」等に関する情報
- ワクチン接種の終了予定日(7月13日時点)のアナウンス
 - ・県広域ワクチン接種センター閉所日(8月22日)
 - ・市町の集団接種会場の終了日
 - ・新型コロナウイルスワクチンの臨時接種終了日(9月30日) など

広報内容・手段	時期
(1) 県広域ワクチン接種センター予約受付の広報 ・びわ湖放送テレビCM(2回) ・SNS広告(Yahoo!、LINE、Twitter、YouTube)	7月21日～8月15日
(2) 県広報番組での広報(広報課に依頼) ・滋賀プラスワンインフォメーション(FMしが) ・しらがインフォメーション(びわ湖放送) ・テレビ滋賀プラスワン(びわ湖放送)	(滋賀プラスワンインフォメーション) 7月22日、8月12日 (しらがインフォメーション) 7月24日、8月6日・13日 (テレビ滋賀プラスワン) 7月22日
(3) 無料チラシ配信アプリ「Shufuu!(シュフー)」での広報	7月21日～8月11日(毎週木曜日)
(4) 生活情報誌(フリーペーパー)での広報(びわこと等県内全域)	7月25日(予定)

4. ワクチン接種の副反応

1・2回目接種のワクチン別 3回目接種における副反応の出現頻度

①ファイザーで1・2回目接種

	2回目	3回目	
	ファイザー	ファイザー	モデルナ
接種部位の痛み	89.5%	91.5%	94.3%
倦怠感	68.8%	69.2%	79.7%
頭痛	53.1%	55.0%	68.4%
発熱 (37.5℃以上)	38.1%	39.9%	66.7%

②モデルナで1・2回目接種

	2回目	3回目	
	モデルナ	モデルナ	ファイザー
接種部位の痛み	84.2%	85.2%	86.4%
倦怠感	80.4%	63.8%	67.5%
頭痛	64.1%	53.0%	55.7%
発熱 (37.5℃以上)	77.0%	50.6%	38.0%

③ノババックスで1・2回目接種

	2回目	3回目
	ノババックス	
接種部位の痛み	45.6%	54.6%
倦怠感	26.4%	46.9%
頭痛	29.6%	45.9%
発熱 (37.5℃以上)	4.4%	17.3%

出典：厚生労働省厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会資料、審査会報告書をもとに作成

4. ワクチン接種の副反応

副反応疑い報告数

○ワクチン接種は、体内に異物を投与し免疫反応を誘導し、感染症に対する免疫を付与すること目的として行われるため、効果とともに、副反応が生じうる。

○本県の医療機関から、独立行政法人医薬品医療機器総合機構(PMDA)に『新型コロナワクチンの接種後の副反応疑い』として報告がなされたものとして、厚生労働省から県に情報提供があったものを集計。

○ワクチン接種後には、接種と因果関係のない偶発的な事象も生じるが、因果関係が不明な場合も含めて、副反応を疑う事例として広く収集し、評価の対象としている。

令和4年7月11日現在

	副反応疑い報告数			年代別			
		うち重篤		64歳以下		65歳以上	
			うち死亡		うち死亡		うち死亡
男性	98	54	21	69	10	29	11
女性	184	73	12	128	2	56	10
不明	0	0	0	0	0	0	0
合計	282	127	33	197	12	85	21

※死亡33例のうち、20例については、医療機関からはワクチン接種との因果関係が評価不能、12例は接種との関連ありと報告されている。
1例は因果関係の記載なし。

健康被害救済制度件数

予防接種後に健康被害が生じた場合、その健康被害が接種を受けたことによるものであると厚生労働大臣が認定したときは、予防接種法に基づく救済(医療費・障害年金等の給付)が受けられる。

令和4年7月11日現在

進達件数 (件)	状況内訳	
	認定	審議待ち
51	13	38

※市町健康被害調査委員会等を経て、本県から厚生労働省へ進達した件数

専門相談窓口 相談件数

医療機関からのワクチンに関する専門的な問い合わせや、県民からのワクチンの副反応、効果等について、市町での対応が困難な相談に対応するための窓口を設置

令和3年3月1日～令和4年7月10日

	日中	夜間	合計
相談件数	35,134	6,656	41,790

※日中:午前9時から午後6時まで、夜間:午後6時から午前9時まで